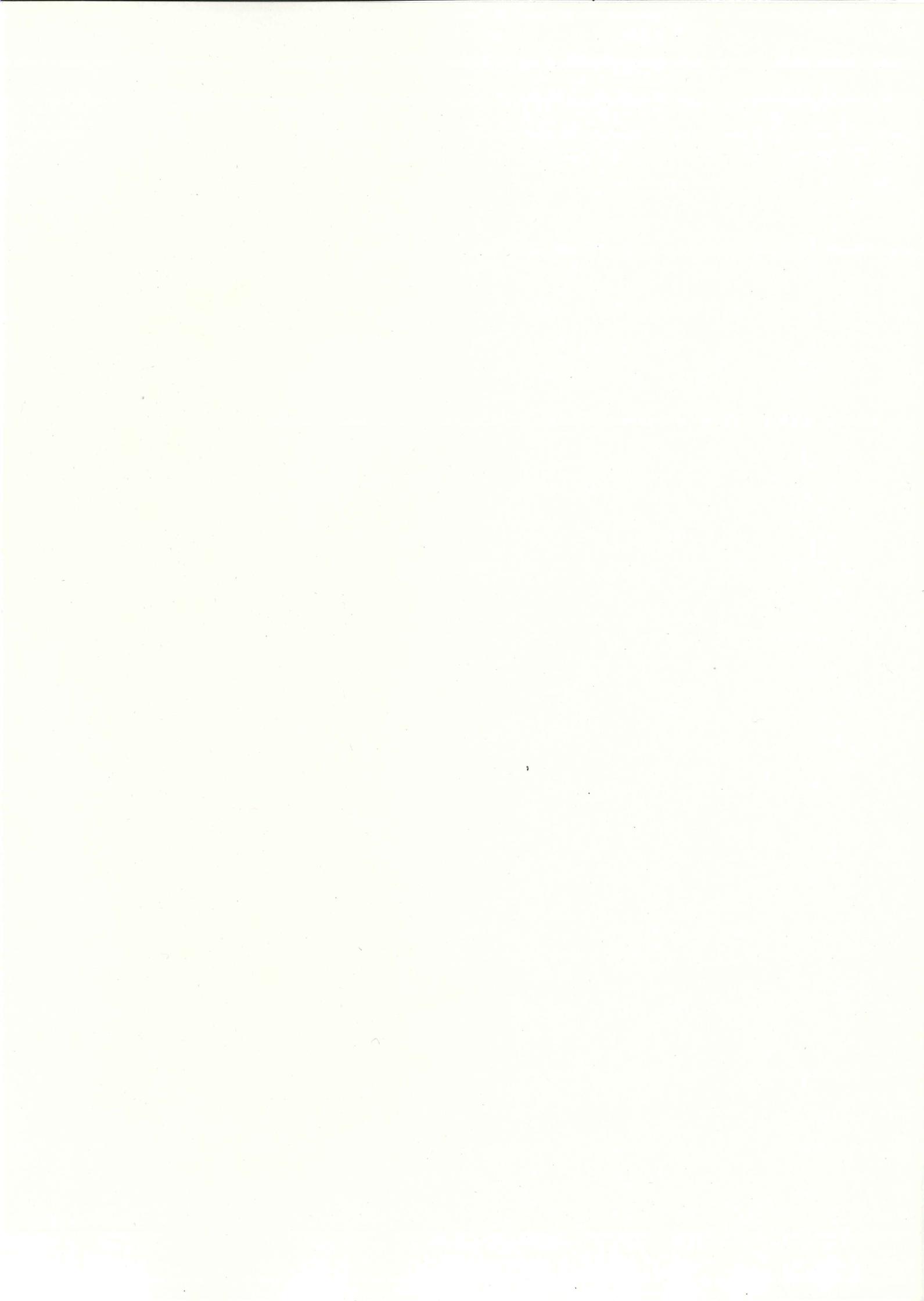


名古屋市科学館

要覧

平成26年度





は じ め に

平成26年1月19日、名古屋市科学館は昭和37年に白川公園に誕生して以来3,000万人目のお客様をお迎えすることができました。

開館当初は天文館のみの公開でしたが、当時としては珍しい大型プラネタリウムとして市民のみなさまにお越しいただいております。そして現在は世界最大のプラネタリウム「Brother Earth」^{ブラザーアース}を擁する全国でも有数の科学博物館として遠方からもたくさんの方にご来館いただいております、子どもの頃に科学館に通われていたお客様がお子さんやお孫さんとご一緒に展示を楽しんでいる姿も嬉しく拝見しています。

平成25年度は、前年度から引き続き開催の「ドラえもん科学みらい展」、折からの深海生物や海洋資源への関心への高まりとも重なって136,660人にご来場いただいた「深海たんけん!」、ふだんの科学館とは一味違ったテーマで女性グループの姿が目立った「チョコレート展」、恐竜発掘の聖地からやってきた実物化石の迫力に圧倒された「モンゴル大恐竜展」の4つの特別展をはじめ、その他多くの企画展・講座・講演会などを開催することができました。これも大学・研究機関や企業を始めとする皆様のご協力あってのことと深く感謝しております。

また、平成25年4月から名誉館長に就任していただいているノーベル物理学賞受賞者の益川敏英氏には、科学創作コンクールでの名誉館長特別賞の審査や高校生による科学の祭典2013における参加生徒への講評などにご参加いただきました。未来の科学者を目指す子どもたちも大いに刺激を受けたことと思います。

皆様のご理解とご協力に支えられて、リニューアルオープンから3年を経過した平成25年度も年間140万人を超える皆様に足を運んでいただくことができ、スタッフ一同大変嬉しく思っております。これからも「みて、ふれて、たしかめて」科学への興味のきっかけを提供できる、皆様に親しまれる科学館であり続けることを目指して日々努力してまいりますので、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年8月

名古屋市科学館
館長 額 満

科学館の基本理念

- 1 科学の原理と応用を理解し、そのおもしろさ、楽しさを知っていただく。
- 2 人間と科学技術との関わりを考えていただく。
- 3 社会的に関心の大きい問題について科学技術的な理解をはかる。
- 4 市民に科学を通じた生涯学習の場を提供する。

名古屋市科学館では、この基本理念にもとづき、展示、教育普及の諸活動を行うとともに、学校教育との連携、市民科学活動の推進をはかっています。

科学館マスコットキャラクター



「愛称＝アサラ」

アストロ (ASTRO) 宇宙

サイエンス(SCIENCE) 科学

ライフ (LIFE) 生命

の頭文字を取って付けた愛称です。

* 制作意図

形にとらわれない自由な発想によるキャラクター。

見る人の自由な発想によって、宇宙に存在するであろう未知の生物であったり、原子やエネルギーに見えたり、また、生命の源やアメーバであったりする。

青少年の科学に対する興味や関心をやさしく高めるよう、楽しくかわいいマスコットキャラクターとした。

制作者:鈴木 勝さん

科学館シンボルマーク



* イメージ

無限に広がる宇宙の片隅に存在する
青い惑星－地球

そこには、生命・物質・エネルギー
さまざまなものが自然のうちに調和し
ている。

人間は英知(科学とその技術)を持った
生命として、この地球に生まれてきた。

人間は、自然のバランスをそこなわ
ず、英知をもって幸福に暮らしてい
かなければならない。

制作者:竹中 香奈子さん

目 次

はじめに

科学館の基本理念

施設の概要

- 1 沿革…………… 1
- 2 組織…………… 3
 - (1) 組織及び職員構成…………… 3
 - (2) 諮問機関…………… 4
- 3 施設概要…………… 5
 - (1) 理工館・天文館改築の背景と経緯…………… 5
 - (2) 改築整備の基本方針…………… 5
 - (3) 改築整備の目標…………… 6
 - (4) 改築整備の特徴…………… 6
 - (5) 各館の概要…………… 6
 - (6) 建築概要…………… 7
 - (7) ネーミングライツの導入…………… 7
 - (8) 施設・設備概要…………… 8
 - (9) 外構等整備概要…………… 9

平成 25 年度事業の概要

- 1 展示事業…………… 10
 - (1) 常設展示…………… 10
 - (2) 大型展示…………… 10
 - (3) 各種実演ショー…………… 11
 - (4) スペシャル実演…………… 12
 - (5) 話題の科学…………… 12
- 2 特別展及び企画展…………… 13
 - (1) 特別展「ドラえものの科学みらい展」…………… 13
 - (2) 特別展「深海たんけん！」…………… 13
 - (3) 企画展「世界を変えた書物」展…………… 14
 - (4) 企画展「色いろカラフルワールド」…………… 14
 - (5) 特別展「チョコレート展」…………… 15
 - (6) 特別展「発掘！モンゴル大恐竜展」…………… 15
- 3 プラネタリウム投影…………… 17
 - (1) 一般…………… 17
 - (2) ファミリーアワー…………… 17
 - (3) 学習・幼児投影（学校等団体向け）…………… 17

- (4) 特別投影…………… 18
- 4 教育普及事業…………… 19
 - (1) 天文分野…………… 19
 - (2) 理工分野…………… 19
 - (3) 生命環境分野…………… 21
 - (4) 講演会・セミナー及び映画等…………… 22
 - (5) フェスティバル及びイベント…………… 24
 - (6) 連携事業…………… 25
 - (7) 出前ミュージアム(その道の達人派遣事業)及び館外事業…………… 26
 - (8) ボランティアの養成及び活用…………… 28
 - (9) 科学館友の会…………… 31
 - (10) 名古屋少年少女発明クラブ…………… 33
 - (11) コンクール事業…………… 36
 - (12) 博物館実習生の受入れ…………… 36
 - (13) 職場体験・職場訪問など…………… 37
- 5 調査研究…………… 38
- 6 印刷物の発行…………… 39
- 7 広報活動…………… 39
- 8 他施設との交流…………… 40
 - (1) 国内活動…………… 40
 - (2) 国際活動…………… 40
 - (3) 視察受入れ…………… 40
 - (4) 芸術と科学の杜…………… 40
 - (5) 研究機関等との相互協定…………… 41
- 9 高校生学力向上促進事業…………… 42
 - (1) 電気自動車プロジェクト…………… 42
 - (2) 高校生による科学の祭典 2013…………… 42
- 10 その他…………… 42
- 11 研修講座等…………… 43
 - (1) 「全国小学校理科研究大会 愛知大会」への協力…………… 43
 - (2) 全国小学校理科研究大会 愛知大会 公開授業…………… 43
 - (3) 尾張教育研究会丹葉支部 理科研究部 研修会…………… 43
 - (4) 名古屋市小中学校生徒・文化的部活動指導者研修会「科学」の部…………… 43
 - (5) 愛知県理科教育研究会 高等学校部…………… 43

研究大会	43
(6) 愛知県高等学校文化連盟	
自然科学専門部 研究発表会	43
12 館外実施事業の状況	43
13 情報収集保存活動	44
(1) 情報資料室	44
(2) インターネット	44
14 入場者の状況	45
(1) 月別利用状況(個人・団体別)	45
(2) 入館者月別利用状況(利用種別)	45
(3) 団体地域別入館者数	46

参 考 資 料

1 年度別入館者数	47
2 常設展示品	49
3 年度別決算	54
4 展示協力	57
5 特別展及び企画展	60
6 観覧料の変遷観覧料の変遷	64

利 用 案 内

名古屋科学館条例	67
名古屋科学館条例施行規則	70

施 設 の 概 要

1 沿 革

名古屋市科学館は市制施行 70 周年記念事業の一環として、昭和 37 年 11 月に天文館が建設され、その後、昭和 39 年 11 月に理工館が、平成元年 4 月に生命館が開館し、総合科学館として平成 24 年 11 月 3 日に開館 50 周年を迎えた。平成 23 年 3 月には、老朽化していた天文館・理工館を改築し、世界最大のプラネタリウムと 4 つの大型展示を備えた新たな施設として開館し、11 月には屋外展示及び外構工事の完了をもって、新館整備に係る全ての工事が終了しグランドオープンした。

昭和 33. 9. 25	科学館建設調査委員会初会合	12. 3. 14～16	アジア太平洋地域科学館協会総会等開催
35. 12. 16	第 1 期工事(天文館)建設着工	12. 11. 11	入館者 2,000 万人達成
36. 1. 11	起工式举行	14. 4. 1	発明発見創造クラブ設立(～19. 3. 31)
36. 11. 1	科学館開設準備室設置	14. 10. 25	文部科学省科学系博物館教育機能活用推進事業受託
37. 8. 10	市立名古屋科学館条例公布・施行	14. 11. 1	開館 40 周年記念事業(特別展・講演会等)開催
37. 10. 31	第 1 期工事(天文館)完工	15. 3. 27	フランス国立「パリ発見の宮殿」と交流計画に関する合意書調印
37. 11. 1	開館式举行	16. 12. 23～25	ロボットサッカー国際交流会開催
37. 11. 3	天文館一般公開	17. 3. 2	「パリ発見の宮殿」にて、日本語プラネタリウム投影
38. 6. 29	第 2 期工事(理工館)建設着工	17. 7. 25～29	万博ロボットサッカー国際交流会開催
39. 10. 30	第 2 期工事(理工館)完工	18. 1. 25	「パリ発見の宮殿」にて、日本語プラネタリウム投影
39. 11. 1	理工館一般公開	19. 2. 7	「パリ発見の宮殿」にて、日本語プラネタリウム投影
40. 9. 29	上原科学技術庁長官視察	20. 10. 1	理工館・天文館改築工事着工
42. 4. 1	博物館相当施設に指定	21. 5. 16	入館者 2,500 万人達成
47. 4. 1	総務局から市民局へ移管	22. 9. 1～	理工館・天文館改築に伴う休館
47. 11. 1	開館 10 周年記念式典举行	22. 10. 11～31	生物多様性条約第 10 回締約国会議開催に伴い生命館を開館
50. 10. 11	アメリカ合衆国カリフォルニア科学産業博物館と姉妹博物館提携	23. 3. 19	理工館・天文館一般公開
53. 8. 20～24	国際プラネタリウム館長会議(IPDC)開催	23. 4. 1	国立極地研究所との相互協力に関する協定を結ぶ
55. 4. 1	市民局から教育委員会へ移管	23. 10. 4	新館入館者 100 万人達成
56. 11. 21	西館建設調査委員会初会合	23. 11. 6	新館グランドオープン記念式典举行
57. 11. 1	開館 20 周年記念事業開催	23. 12. 12	世界最大のプラネタリウム「Broth Earth」がギネス世界記録に認定
60. 1. 20	入館者 1,000 万人達成	24. 3. 19	新館開館 1 周年記念式典举行
60. 3. 20	65 cm 反射望遠鏡設置	24. 3. 19	名古屋大学理学部との相互協力に関する協定を結ぶ
61. 9. 3	生命館建設着工	24. 5. 1	名古屋大学情報文化学部との相互協力に関する協定を結ぶ
63. 11. 30	生命館完工	24. 7. 16	新館入館者 200 万人達成
63. 12. 2	シンボルマーク及びキャラクター(アサラ)決定	24. 7. 18	(独)宇宙航空研究開発機構(JAXA)と相互協力に関する協定を結ぶ
平成元. 4. 28	生命館開館記念式典举行	24. 8. 10	「芸術と科学の杜」シンボルマーク決定
平成元. 4. 29	「市立名古屋科学館」を「名古屋市科学館」に名称変更	24. 11. 3	名古屋市科学館開館 50 周年記念式典举行
	生命館一般公開	25. 3. 26	名古屋大学博物館と相互協力に関する協定を結ぶ
	名古屋市科学館協議会設置	25. 4. 1	名誉館長に益川敏英氏(ノーベル物理学賞)就任
元. 6. 14	三笠宮崇仁殿下ご視察	25. 9. 29	中京大学人工知能高等研究所と相互協力に関する協定を結ぶ
元. 7. 25	高円宮憲仁親王殿下並びに久子妃殿下ご視察	26. 1. 19	入館者 3,000 万人達成
2. 1. 22	博物館登録		
3. 4. 7	皇太子徳仁親王殿下ご視察		
4. 11. 1	開館 30 周年記念式典举行		
5. 7. 24	入館者 1,500 万人達成		
6. 3. 24	受変電設備火災事故発生 翌日(3. 25)から休館		
6. 7. 1	火災事故復旧工事完了・開館		
9. 7. 29	文部省科学系博物館活用ネットワーク推進事業受託		
9. 8. 2	高円宮憲仁親王殿下並びに久子妃殿下ご視察		
10. 10. 22	科学技術振興事業団・科学館整備モデル事業受託		
11. 5. 7	秋篠宮文仁親王殿下特別展ご視察		

歴代館長

(敬称略)

館長名		期間
初代	清水 勤二	昭和 37 年 8 月 10 日～ 昭和 39 年 5 月 31 日
第 2 代	杉戸 清	昭和 39 年 6 月 1 日～ 昭和 40 年 6 月 15 日
第 3 代	久垣 中陽	昭和 40 年 6 月 16 日～ 昭和 46 年 4 月 30 日
第 4 代	今城 栄次郎(助役・事務取扱)	昭和 46 年 5 月 1 日～ 昭和 47 年 1 月 9 日
第 5 代	佐藤 知雄	昭和 47 年 1 月 10 日～ 昭和 61 年 3 月 31 日
第 6 代	岡田 博	昭和 61 年 4 月 1 日～ 平成 4 年 12 月 31 日
第 7 代	樋口 敬二	平成 5 年 1 月 1 日～ 平成 17 年 3 月 31 日
第 8 代	岡田 大(教育長・事務取扱)	平成 17 年 4 月 1 日～ 平成 18 年 3 月 31 日
第 9 代	柳田 博明	平成 18 年 4 月 1 日～ 平成 18 年 11 月 20 日
第 10 代	岡田 大(教育長・事務取扱)	平成 18 年 12 月 1 日～ 平成 19 年 3 月 31 日
第 11 代	石丸 典生	平成 19 年 4 月 1 日～ 平成 26 年 3 月 31 日
第 12 代	瀨瀬 満	平成 26 年 4 月 1 日～

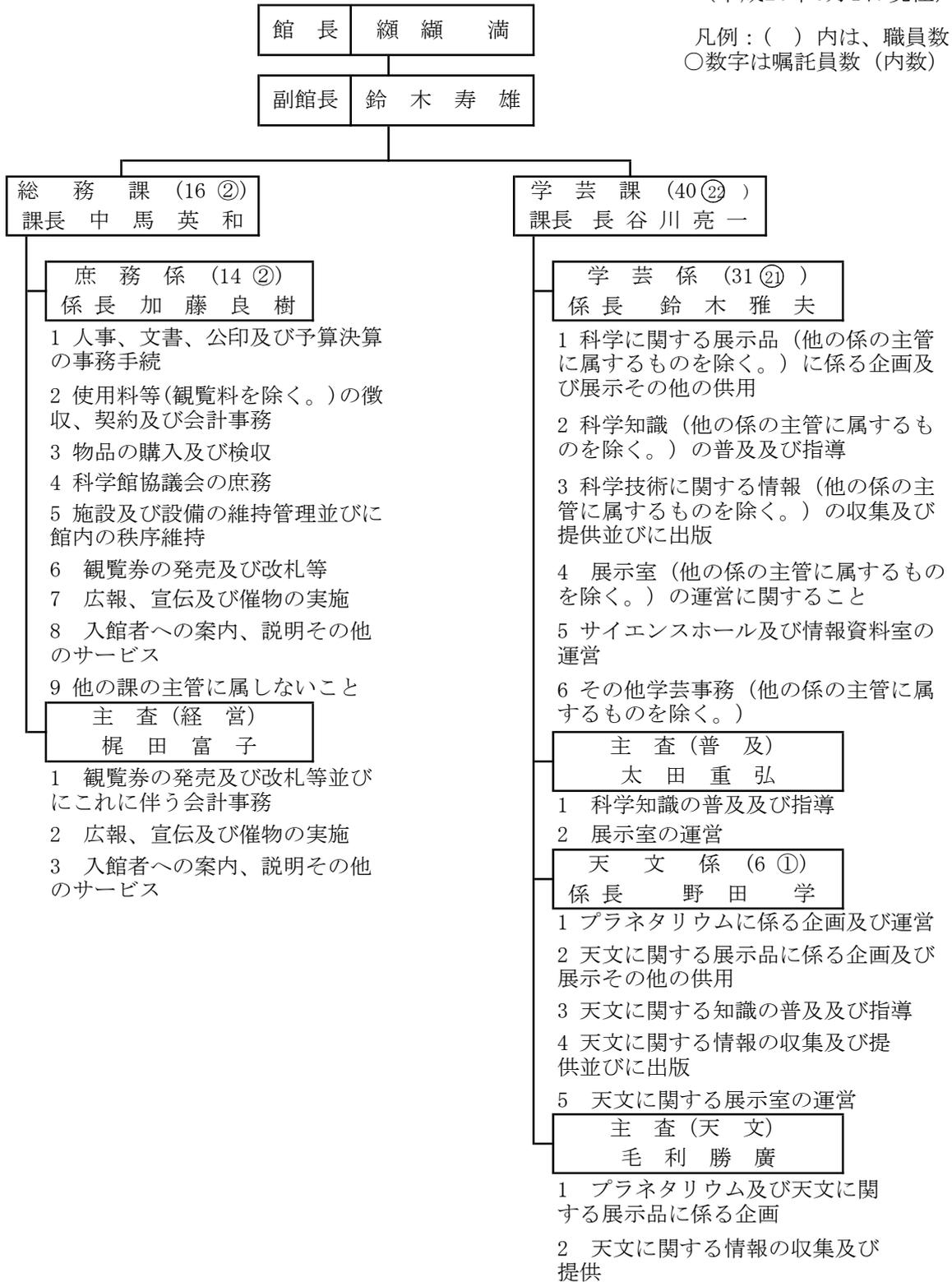
名誉館長	益川 敏英	平成 25 年 4 月 1 日～
------	-------	------------------

2 組織

(1)組織及び職員構成

(平成26年6月1日現在)

凡例：()内は、職員数
○数字は嘱託員数(内数)



〔職種別職員構成〕

職名	行政職 (事務)	行政職 (技術)	教育 指導職	社会教育 主事	学芸職	非常勤 特別職	嘱託員	計
館長						1		1
副館長	1							1
総務課	11	3					2	16
学芸課	1		1	2	14		22	40
計	13	3	1	2	14	1	24	58

(2) 諮問機関

① 名古屋市科学館協議会

博物館法及び名古屋市科学館条例に基づいて設置されており、科学館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、館長に対し意見を述べる機関とされている。

科学館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命しており、条例により、定数は15人以内で、任期は2年とされている。

(敬称略)

氏名	役職名	氏名	役職名
今川郁子	名古屋市立大宝小学校長	小林身哉	国立病院機構名古屋医療センター附属 名古屋看護助産学校非常勤講師
加藤雄司	名古屋市立菊里高等学校長	直江知樹	国立病院機構 名古屋医療センター院長
加藤智子	名古屋市立第三幼稚園長	束村博子	名古屋大学大学院 生命農学研究科教授
大谷恩	愛知県私学協会副会長	内藤弘康	名古屋商工会議所副会頭
青山淑子	名古屋市地域女性団体 連絡協議会理事	山口宏昭	中日新聞名古屋本社事業局長
山下清子	名古屋市立小中学校 PTA協議会理事	菅康弘	日本放送協会名古屋放送局長
村田実	(公募)	神崎修三	公益財団法人中部科学技術 センター専務理事

[平成26年7月21日現在]

② 名古屋市科学館企画調査委員

科学に関する資料及び装置(科学館資料)に関し、調査研究を行い、もって科学館の充実を図るため、設置されており、委員は、館長の依頼を受け、科学館資料の収集及び展示の調査研究並びにその他科学館資料の専門的事項の調査研究に関することを処理するとされている。

委員は、教育委員会が委嘱しており、定数は16人以内とされている。

(敬称略)

氏名	役職名	氏名	役職名
鈴置保雄	名古屋大学大学院 工学研究科教授	金田英宏	名古屋大学大学院 理学研究科教授
沼田宗敏	中京大学工学部 機械システム工学科教授	吉田英一	名古屋大学博物館長
高橋鉦次	名古屋市工業研究所 材料技術部部長	鈴木和代	愛知県医師会立 名古屋助産師学院副校長
天野浩	名古屋大学大学院 工学研究科教授	川上紳一	岐阜大学教育学部教授
成瀬清	基礎生物学研究所准教授	清水裕彦	名古屋大学大学院 理学研究科教授

[平成26年7月21日現在]

3 施設概要

当館は昭和 37 年に「天文館」、昭和 39 年に「理工館」、平成元年に「生命館」を開館した。天文館と理工館は平成 22 年 8 月をもって閉館し、改築整備を進めてきた新館を含めた新たな施設となった。改築後の科学館も従来と同じ天文館、理工館、生命館という 3 館で構成している。

(1) 理工館・天文館改築の背景と経緯

◇ 背景

理工館・天文館は、建築後 50 年近くが経過し、建物の老朽化、バリアフリーの不備、耐震性の不足、天井が低い、床面の耐荷重性能が不十分などの課題を抱えているため、改築整備が必要となった。

◇ 経緯

平成 16・17 年度	名古屋市科学館理工館・天文館の改築基本構想
平成 18 年度	建物・展示・プラネタリウムに係る基本計画等
平成 19 年度	建物実施設計、展示基本設計、プラネタリウム実施設計
平成 20 年度	建物建築工事、展示実施設計及び製造、プラネタリウム製造
平成 21・22 年度	建物建築工事、展示製造、プラネタリウム製造
平成 23 年度	外構工事、屋外展示製造

(2) 改築整備の基本方針

① 科学の面白さを感じることができる科学館

ダイナミックな体験が可能な大型展示と最新のプラネタリウムを整備するほか、生命館・理工館・天文館を一体化させ、共通の常設展示テーマを設定し、さらに関心度の高いテーマを取り上げた特別展・企画展を開催するなどして、科学への興味と関心を高める。

② 何度も行きたくなる科学館

参加体験型の多様な展示品や多彩な活動プログラムを用意するなど、常に新たな「疑問と発見」を感じることでできる場を提供するとともに、ミュージアムショップの商品の多様化など、利用者の満足度・充実度の向上を図る。

③ 科学好きの子どもを育てる科学館

学校教育と連携して、子どもたちが科学についてより楽しく学べるように、学校では経験できない展示や実験・工房等の活動プログラムを充実させ、子どもの多様な知的探究心を満足させる。

④ 地球環境時代の科学館

地球温暖化等の環境問題を多面的・総合的な視点で捉えた展示に取り組むとともに、建物・設備等においても、自然エネルギーの活用等環境に配慮し、科学館の活動や存在自体が、人間と環境の関係を考える契機となるものとする。

⑤ 連携する科学館

市民ボランティアの育成を促進し、科学技術の普及啓発を充実するとともに、産業界・大学・学界や国内外の科学系博物館等との連携を深め、最新の科学技術を紹介・展示し、科学へのさらなる興味を抱かせる。

(3) 改築整備の目標

世界一のプラネタリウムと魅力ある大型展示を備え、学習施設であると同時にエンターテインメント性豊かな観光施設ともなる、世界に誇れる科学館を整備し、年間入館者 100 万人を目指す。

(4) 改築整備の特徴

<建物>

- 公園と周辺地域の連続性を確保するため建物内に大きな通路を配置
- 球体を強調した外観デザインでプラネタリウムドームのランドマーク化
- 建物自身が展示装置（構造の見える化）
 - ・ 制震構造、エレベーター・エスカレーター構造
- 環境にやさしい建物
 - ・ 大規模壁面緑化、屋上緑化
 - ・ 太陽光発電、風力発電
 - ・ クールヒートトンネル、雨水貯留槽（1,000m³以上）
- 天井を高くし、壁を少なくするなどフレキシブルな展示空間

<展示>

- ダイナミックで迫力のある大型展示
 - ・ 高さ 9m の人工竜巻
 - ・ 巨大な放電体験装置
 - ・ マイナス 30℃ の部屋で全天周オーロラ映像
 - ・ 大規模で多彩な仕掛けの水の広場
- 親しみやすく五感に訴える参加体験型展示

<プラネタリウム>

- 世界最大のドームスクリーン（ドーム径 35m）に投影される限りなく本物に近い星空
- 高解像度の全天周動画による迫力ある映像
- レーザー光線や霧の発生など、エンターテインメント性豊かな特殊演出
- ゆとりのある快適な座席空間

(5) 各館の概要

<理工館>

エントランスがあり、観覧者が最初に入館する施設。

2 階から 6 階までが常設展示室、地下に特別展・企画展等を開催するイベントホール、7 階に天文台、3 階と 7 階に休憩室がある。

常設展示室には、こどもたちの科学的な気づきを促す展示から、最先端科学を扱った展示があり、分野も科学・技術全般に渡り幅広く取り扱っている。

通常の展示品のほか、2階層の吹き抜けを用いた大型展示品も整備した。

<天文館>

主に球体の施設部分であり、4階から6階までのフロアで構成されている。

4階は実演を行うステージ、5階は常設展示室、6階にプラネタリウム「^{ブラザー アース}Brother Earth」がある。

プラネタリウムでは、幼児を含む幅広い年齢層を対象に、単に憧れとしての星空を眺めるだけではなく、天文知識や現象を正確に伝え、さらに、本当の星空にまで興味が広がるような番組構成・解説を行っている。

<生命館>

2階から5階までが常設展示室。6階に講座を開催する実験室や学習室、1階に休憩室、地下にサイエンスホールがある。

常設展示室では、生命とは何かをあらゆる角度から総合的に解明しようとする生命科学をテーマに、「生命」「人体」「生活」及び「地球」のグループを設定し、この地球という惑星の上で、人類が豊かで健康な暮らしをするための問いかけをしている。

(6) 建築概要

区分	各棟別		
	理工館・天文館	生命館	
敷地面積	13661.95 m ²		
建築面積	4,263.62 m ²	3,063.80 m ²	1,199.82 m ²
延床面積	22,551.32 m ²	15,735.19 m ²	6,816.13 m ²
構造	鉄骨造、一部鉄骨鉄筋	地上 7階	地上 8階
	コンクリート造	地下 2階	地下 2階
常設展示室	10室 6,515 m ²	6室 4,338 m ²	4室 2,177 m ²
開館日	H23.3.19		H元.4.29

(7) ネーミングライツの導入

対象施設：プラネタリウムドーム

愛称：Brother Earth (ブラザーアース)

権利内容：施設命名権、施設サイン掲出権等

ネーミングライツ・パートナー：ブラザー工業株式会社

契約期間：平成23年3月19日から平成28年3月31日

(8) 施設・設備概要

天文館	理工館	生命館	東館
プラネタリウム ブラザーアース 「Brother Earth」 【803 m ² (350 席)】	天文台 【87 m ² 】	第2実験室 【120 m ² (36 席)】	
プラネタリウム 制作室	7階休憩室 【187 m ² (96 席)】	学習室 【102 m ² (54 席)】	
サイエンスステージ 【173 m ² (66 席)】	第1実験室 【115 m ² (48 席)】	ボランティア 控室	
	3階休憩室 【251 m ² (84 席)】		レストラン 【157 m ² (56 席)】
	情報資料室 【97 m ² 】	1階休憩室 【385 m ² (170 席)】	ミュージアム ショップ 【104 m ² 】
	イベントホール 【777 m ² 】	サイエンスホール 【440 m ² (320 席)】	

□ 35m プラネタリウムドーム「Brother Earth」 ブラザーアース

統合システム（全システムを統合・生解説用コンソール）

光学式プラネタリウム（ユニバーサリウム IX 型（名古屋市特別仕様））

デジタル式プラネタリウム（スカイマックス DS II-R2 SH-4K 6 台）

デジタルパノラマ（スカイマックス DS II-R2 パノラマ SIM7Q 16 台）

補助投影システム（HD950 5 台）

音響システム（D-SICS）

補聴システム（赤外線、及び磁気ループ）

効果照明システム（スカイペイント）

通路 LED

レーザーシステム（アウロラ）

座席（350 席、全席リクライニング、左右 30° 回転）

□ プラネタリウム制作室（5m ドーム）

制作システム（SCD5）

□ 天文台

80cm カセグレン式反射望遠鏡

（周辺機器：20cm 屈折望遠鏡、デュアルワンダーアイ、スターイメージレイヤー他）

□ 星のひろば

15cm ケプラー式屈折望遠鏡 6 台、レーザーシステム一式

□ 30cm 太陽望遠鏡（太陽投影像 194cm）

（周辺機器：10cm 白色像用屈折望遠鏡、10cmH α 像用屈折望遠鏡、分光器他）

(9) 外構等整備概要

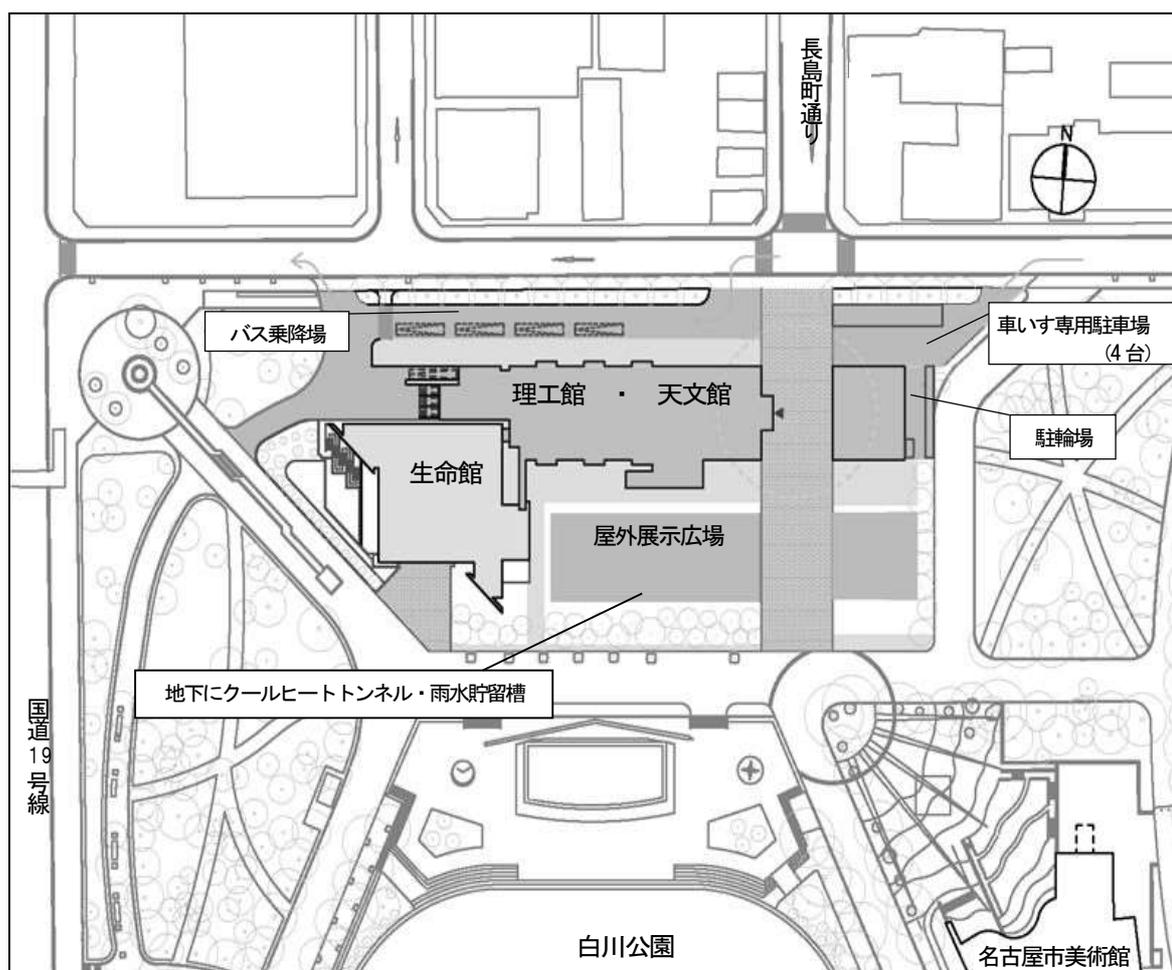
① 外構工事

- (1) 平成 22 年度完了分の主な整備
バス乗降場、エントランス広場～西側外構、駐輪場、生命館南側広場
- (2) 平成 23 年度実施分の主な整備
屋外展示広場、クールヒートトンネル、雨水貯留槽、身障者用駐車場、東側園路

② 屋外展示工事

- (1) 平成 22 年度完了分の主な整備
フランシス水車、無人探査機ドルフィン 3 K、ニュートンのりんごの木
- (2) 平成 23 年度実施分の主な整備
H-II B ロケット、日本実験棟「きぼう」、B 6 型蒸気機関車、市電 1400 型ボギー車

③ 配置図



平成 25 年度事業の概要

1 展示事業

(1) 常設展示

科学との出会いから、身近な暮らしへ、そして宇宙や地球内部へと、科学に対する興味を広げていくようにテーマを設定している。

館	展 示 室 名	展 示 内 容
天文	5階 宇宙のすがた	広大な宇宙のスケールを実感するとともに、宇宙の姿とその不思議を紹介
理工	2階 不思議のひろば	「みる・きく・さわる・うごかす」といった体験を通して、科学の不思議さや楽しさとの出会いの場を演出する
	3階 技術のひろがり	身のまわりにある機械の仕組みや、ものづくりの知恵を科学の視点で紹介
	4階 科学原理とのふれあい	波動、電磁気、運動など自然界の原理や法則について紹介
	5階 物質・エネルギーのせかい	暮らしを支える材料、エネルギーや、物質を構成する原子・分子について様々な視点で紹介
	6階 最先端科学とのであい	地球環境を理解するため、宇宙と地下に挑む科学のフロンティアを紹介
生命	2階 地球のすがた	地球上で見られる現象や地球環境の歴史などについて紹介
	3階 生活のわざ	豊かな暮らしを送るための人間の「衣」、「食」、「住」とさまざまな生物とのかかわりを展示
	4階 人体のしくみ	複雑なメカニズムを持つ人体のしくみを探る展示
	5階 生命のひみつ	地球上の生物に共通する生命のしくみと、多様性の謎に迫ろうとする展示
	屋 外	風力発電装置、海底無人探査機、フランス水車蒸気機関車、市電、H-II B ロケット、きぼう

(2) 大型展示

館	大型展示	展 示 内 容
理工	2～3階 水のひろば	「雲、雨、川、海」による水の循環の表現や音と光を連携させた演出を観察するとともに、水を使った様々な実験をする。
	3～4階 竜巻ラボ	3本の柱からの横方向の風で回転流をつくり、上方より空気を吸い上げることで発生した巨大な竜巻を観察し、自然界のエネルギーを体感する。
	4～5階 放電ラボ	2基の大型テスラコイルから向かってくる放電により、ダイナミックな電気エネルギーを体感する。
	5階 極寒ラボ	マイナス 30℃の極低温空間で起こる現象を観察し、極地を疑似体験する。

(3) 各種実演ショー

実演場所	名 称	実演・実験内容	平成 24 年度		平成 25 年度			
			回数 (回)	参加者数 (人)	回数 (回)	参加者数 (人)		
理 工 館	2階	水の広場	水の循環と水の性質について知識を深める演出		来館者対象			
	3階	都市パノラマ	名古屋を参考にした架空の都市パノラマにて、人、モノ、エネルギーなどの流れを中心に説明		986	30,225	1,002	29,866
		竜巻ラボ	人工的に竜巻そっくりの空気の渦をつくり出すことができる実験装置で高さ約9mの渦を観察		1,006	59,272	998	64,924
	4階	放電ラボ	放電現象がどのようなメカニズムで起きているのか、轟音をともなう激しい電気スパークを観察し理解する		1,681	101,530	1,713	100,947
	5階	極寒ラボ	マイナス30℃の世界を体験しながらオーロラ映像を見たり、氷の実験や氷の結晶を観察		3,153	70,937	3,364	74,073
天文館	4階	サイエンスステージ	<ul style="list-style-type: none"> ・おば化な実験室 ・ふれ ふれ フレール ・まわる まわる まわる ・慣性で大歓声 ・みんなの空気 ・ハカセ対決 ～燃焼編～ ・うかしてとばして大実験 ・夏祭り屋台サイエンス ・ハカセとサンタのメリークリスマス ・プラスとマイナス静電気 ・ハカセ対決～光の色～ ・おもてなし武将隊をおもてなし 		1,099	78,612	1,125	79,364
生命館	5階	生命ラボ	<ul style="list-style-type: none"> ・タンポポのタネはいくつある？ ・葉緑体を見てみよう！ ・お口のサイエンス ・シロアリのふしぎな行動 ・ダンゴムシはジグザグがお好き ・トウモロコシのひみつ ・食べ物の鉄を調べてみよう ・目と耳とどっちがはやい！？ ・赤いゾウリムシを見てみよう！ ・けんび鏡で見てみよう～水の中の小さな生きもの ・あれ？目のさっかく 		404	6,270	408	5,776

(4) スペシャル実演

実演場所	事業名	開催期日	回数(回)	参加者数(人)
生命館5階 生命ラボ	「のぞいてみよう！ミクロの世界」	毎土日 各日2回	182	2,331
	走査型電子顕微鏡を体験してみよう	不定期開催	8	45
	あいちの農林水産業を支える サイエンスウィーク 共催：愛知県農林水産技術会議	8月27日(火)～ 9月1日(日)	6	290
	国際植物の日記念行事 「のぞいてみよう！植物のひみつ」 協力：理化学研究所バイオリソースセンター	5月18日(土) 19日(日)	2	200
	けんび鏡でみてみよう 「ウナギの赤ちゃん」 協力：愛知県水産試験場	7月23日(火)～ 8月30日(金) 11月26日(火)～ 2月20日(木)	25 42	4,737 2,035
	細胞の模型を作ろう 協力：基礎生物学研究所	9月23日(祝)	3	51
	光る生き物の不思議 連携：愛知教育大学大鹿研究室	11月4日(祝)・6日 (水)・14日(木)・ 23日(祝)	8	105

(5) 話題の科学 (理工館6階 コーナー)

コーナー	テーマ	展示時期
右	益川敏英名誉館長就任記念 小林・益川理論に近づいてみよう	25年3月～11月
	岐阜県坂祝町の地層中から巨大隕石衝突の証拠が見つかった	25年12月～
左	日本にも氷河があった	25年3月～26年1月
	ナノスーツって何ナノ？	26年2月～

2 特別展及び企画展

(1) 特別展「ドラえもんの科学みらい展」

- ①開催趣旨 「ドラえもん」は、1970年の連載開始から40年以上にわたって世代や国を超えて人々を魅了し続けています。その魅力の一つは、登場する数々の奇想天外で便利なひみつの道具にあります。本展では、「ドラえもん」に登場する様々なひみつの道具をテーマとして、現代の最先端の科学技術でどこまで実現されているのかを、体験型の展示を中心に紹介しました。
- ②開催期間 3月16日(土)～5月6日(月・祝) 開催日数 44日
- ③入場者 123,179人
- ③会場 理工館地下2階 イベントホール
- ④主催 名古屋市科学館、名古屋テレビ放送
- ⑤特別協力 藤子プロ
- ⑥科学監修 日本科学未来館
- ⑦企画製作 ドラえもんの科学みらい展実行委員会
(小学館、テレビ朝日、シンエイ動画、ADK、Shopro、科学技術広報財団)
- ⑧入場料 大人 1,000円 [前売券 800円]
高校・大学生 700円 [前売券 500円]
小中学生 500円 [前売券 300円]
- ⑨展示内容 人とのコミュニケーションをテーマにしたロボット技術や世界で一番小さいヘリコプター「GEN H-4」、言語の違いを克服して会話することを目指して開発されている音声翻訳システムの紹介、あたかも透けて見えるような「透明マント」での変身体験など、ドラえもん暮らしと暮らす未来をテーマに最先端の科学技術の成果を紹介。

(2) 特別展「深海たんけん！」

- ①開催趣旨 深海は、その深さのために温度や圧力などが浅い所とはまったく違い、不思議な生き物がたくさんいます。最近では、メタンハイドレートなど深海底にしかない物質が資源として注目されています。このように不思議な深海の世界についての探査や研究は、日本が世界をリードしていると言えるでしょう。本特別展は、「深海」をテーマとして、深海とはどのようなところで、何がおりどんな生き物がいるのか、そして深海はどのように調べられ何がわかってきたかなどについて、実物や標本を展示・解説し、また体験をすることで、深海について総合的に知ってもらうため企画しました。
- ②開催期間 7月20日(土)～9月1日(日) 開催日数 39日
- ③入場者 136,660人
- ④会場 理工館地下2階 イベントホール
- ⑤主催 名古屋市科学館 中日新聞社 中部日本放送
- ⑥協賛 県民共済愛知県生活協同組合
- ⑦協力 海上保安庁、独立行政法人海洋研究開発機構、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構、名古屋港水族館、蒲郡市竹島水族館、沼津港深海水族館、神奈川県立生命の星・地球博物館、田崎物産、鳥取県立博物館、駿河湾深海生物館、名古屋大学博物館、東海化石研究会、南知多ビーチランド、日本大学生物資源科学部、地質標本館、名古屋市工業研究所 ほか
- ⑧入場料 大人 1,000円 [前売券 800円]
高校生・大学生 700円 [前売券 500円]
小中学生 500円 [前売券 300円]

- ⑨展示内容 日本近海 3D 海底地形図、全長 18m ダイオウイカ模型、剥製（リュウグウノツカイ、タカアシガニ他）、プラスチック封入標本（ムネエソ類他）、生体展示（ヌタウナギ、オオグソクムシ他）、しんかい 6500（1/2）模型、江戸っ子 1 号実物大模型 など

⑩関連事業

内 容	講師・主催・協力	実施日・実施回数	参加者数
プレイベント講演会 「1600 万年前の深海 ー師崎層群の深海生物たちー」	東海化石研究会	7 月 7 日（日）	120 人
深海グルメ講座	蒲郡竹島水族館 飼育員 三田圭一さん	7 月 27 日（土）	30 人
親子プラモデル教室	株式会社ハセガワ 山本正義さん	7 月 28 日（日）	60 人
深海化石ツアー	東海化石研究会	8 月 3 日（土）	30 人
CAMP すいそく・かいぞく・図鑑ワークショップ 「ナゾに満ちた深海生物を研究しよう！」	SCSK 中部システム事業本部 CAMP 事務局	8 月 24 日（土） 8 月 25 日（日）	36 人

（３） 企画展 「世界を変えた書物」 展

- ①開催趣旨 もしコペルニクスが地動説を説かなければ太陽は地球の周りを回り続けたか
もしれません。もしニュートンが万有引力を発見しなければ、もしダーウィン
が生物の進化を体系化しなければ…。彼らは間違いなく、世界に対する認識を
一変させた人類が誇る叡智であり、そして彼らの発見を広く世に伝えたものが
書物なのです。本展では、金沢工業大学が所蔵するコレクション“工学の曙文
庫”から選りすぐられた稀覯な初版本の数々を、分かりやすく展示公開しました。
- ②開催期間 9 月 13 日（金）～9 月 29 日（日） 開催日数 14 日
- ③入 場 者 13,770 人
- ④会 場 理工館地下 2 階 イベントホール
- ⑤主 催 金沢工業大学、名古屋市科学館、中日新聞社
- ⑥入 場 料 常設展観覧料で観覧可能
- ⑦展示内容 ニコラス・コペルニクス「天球の回転について」1543 年初版、アイザック・
ニュートン「自然哲学の数学的原理（プリンキピア）」1687 年初版、チャー
ルズ・ダーウィン「種の起源」1859 年初版 など
- ⑧関連事業 監修者によるミュージアムトーク
講師：金沢工業大学ライブラリーセンター館長 ちく かくぎょう 竺 覚 暁
開催日：9 月 14 日・15 日・16 日・21 日・22 日・23 日・28 日・29 日
各日 2 回計 16 回
参加者：入場者

（４） 企画展 「色いろカラフルワールド」

- ①開催趣旨 よく見なれた日常の中にも、科学の目から見ると不思議や秘密が潜んでいます。
身近な疑問から科学の面白さに気づいてもらうため、「色」をテーマに取り上
げ、色の不思議な世界を展示、実験、オリエンテーリングで紹介しました。
- ②開催期間 11 月 16 日（土）～12 月 1 日（日） 開催日数 14 日
- ③入 場 者 11,283 人
- ④会 場 理工館地下 2 階 イベントホール
- ⑤主 催 名古屋市科学館

- ⑥協 力 名古屋市東山動物園、名古屋市生活衛生センター、独立行政法人産業技術総合研究所中部センター、DIC 株式会社、DIC グラフィックス株式会社、株式会社パイロットコーポレーション、パイロットインキ株式会社、株式会社森荘ほか
- ⑦入 場 料 常設展観覧料で観覧可能
- ⑧展示内容 展示コーナー「色ってなあに?」「虹色いろいろ」「空の色と海の色」「光の三原色」「色の三原色」他、映像コーナー、実験コーナー「やってみよう実験」、オリエンテーリング
- ⑨関連事業 かがくの実験室「色と印刷の実験をしよう」
講師及び協力：DIC 株式会社・DIC グラフィックス株式会社
開催日：11 月 23 日（土） 参加者：33 名（小学校 5・6 年生）

（5） 特別展「チョコレート展」

- ①開催趣旨 私たちが普段何気なく食べている一粒のチョコレート、それがどのような原料から作られ、どのように私たちの口に届くのかはあまり知られていません。本展では、チョコレートの原料であるカカオ豆の小さな一粒を通じて、カカオを育む自然の恵み、チョコレートを発明した人類の智慧（ちえ）と工夫、そして、世界のつながりなどを多数の展示物を通して明らかにしました。
- ②開催期間 12 月 17 日（火）～2 月 23 日（日） 開催日数 52 日
- ③入 場 者 108,414 人
- ④会 場 理工館地下 2 階 イベントホール
- ⑤主 催 名古屋市科学館、読売新聞社、中京テレビ放送
- ⑥協 賛 日本チョコレート・ココア協会
- ⑦特別協力 国立科学博物館
- ⑧入 場 料 大人 1,300 円 [前売券 1,100 円]
高校生・大学生 800 円 [前売券 600 円]
小中学生 500 円 [前売券 300 円]
- ⑨展示内容 (1)チョコレートの原点～カカオ
(2)チョコレートをめぐる歴史
(3)チョコレートと日本
(4)カカオからチョコレートができるまで
(5)チョコレートをもっと知ろう～チョコレート・プロムナード
- ⑩関連事業

内 容	講師・主催・協力	実施日・実施回数	参加者数
ハンドベルコンサート	金城学院大学ハンドベルクワイア卒業生	12 月 21 日（土）2 回 12 月 22 日（日）2 回	来館者
ギャラリートーク	日本チョコレート・ココア協会 顧問 尾畑嵩英	12 月 22 日（日）	入場者
「大徳さん」コラボチョコ販売・一本毛お触り会(1 月 12 日のみ)	中京テレビ「前略！大徳さん」 パティスリーヴィヴィエンヌ	1 月 12 日(日)～2 月 23 日(日)	来館者
松坂屋コラボチョコプレゼント	松坂屋	1 月 23 日(木)～1 月 26 日(日)	2,020 人

（6） 特別展「発掘！モンゴル大恐竜展」

- ①開催趣旨 モンゴルのゴビ砂漠からは多数の恐竜化石が発見されており、たいへん保存の良い状態であることが多いのが特徴です。発掘！モンゴル大恐竜展では、林原自然科学博物館が発掘してきた恐竜化石の中から、アジアのティラノサウルスと言われるタル

ボサウルス、原始的な角竜プロトケラトプスなど、数多くの保存の良い実物標本を展示するとともに、名古屋市科学館と名古屋大学博物館が連携して進めているモンゴルの地質研究の成果も合わせて紹介しました。

- ②開催期間 3月19日(水)～6月8日(日)
- ③入場者 121,976人
- ④会場 理工館地下2階 イベントホール
- ⑤主催 モンゴル科学アカデミー古生物学センター、名古屋市科学館、読売新聞社、中京テレビ放送
- ⑥協賛 ダイワボウ情報システム
- ⑦特別協力 林原自然科学博物館
- ⑧協力 名古屋大学博物館、名古屋市工業研究所、愛知県公衆浴場業生活衛生同業組合
- ⑨入場料
 大人 1,300円 [前売券 1,100円]
 高校生・大学生 800円 [前売券 600円]
 小中学生 500円 [前売券 300円]
- ⑩展示内容
 (1)展示恐竜標本
 タルボザウルスの全身骨格化石、ヴェロキラプトルとプロトケラトプス戦闘化石、プロトケラトプス幼体集合化石 等
 (2)モンゴルの多様な発掘地
 ゴビ砂漠の恐竜発掘地ごとの古環境の違いを示し、恐竜時代のゴビ砂漠の環境の多様性について理解を促す。
 (3)ゴビの化石が伝えるもの
 恐竜の迫力・大きさだけではなく、保存状態の良いモンゴルの実物化石だからこそもたらされる最新の研究成果を展示紹介。

⑪関連事業

内 容	講師・主催・協力	実施日・実施回数
ゴビ砂漠・恐竜発掘隊員に聞いてみよう！	林原自然科学博物館 プレパレーター 河原 康浩	4月15日(火) 2回
		4月16日(水) 3回
		5月8日(木) 2回
		5月9日(金) 3回

3 プラネタリウム投影

(1) 一般投影

一般を対象として今夜の夜空の星の探し方から幅広い天文のテーマを、月替わりでわかりやすく解説する。1回の投影時間は約50分。

月	テ	マ	投影回数	月	テ	マ	投影回数	
4	北斗七星	あらかると	113	10	星空の	オルゴール	110	
5	宇宙の	アルバム	112	11	宵の	明星	102	
6	星空の	時間旅行	107	12	星の	写真にチャレンジ!	99	
7	天の	川と銀河系	109	1	オー	ロラの国へ	92	
8	ブラック	ホール(~9/1)	138	2	こいぬ	座物語	96	
9	お盆の	ような月(9/7~)	94	3	宇宙の	つくり方	114	
【参考】平成24年度投影回数=1,363回							計	1,286

(2) ファミリーアワー

家族連れや、初めてプラネタリウムをご覧になる方などにオススメの、プラネタリウムの基本が体験できるプログラムです。今晚の星空から宇宙旅行までの楽しい内容です。

テーマ：星座めぐり・宇宙めぐり

- ◇ 投影時間 13:50～ 土・日曜・祝日・夏・冬・春休み
- 平成25年度投影回数=152回
- 平成25年度観覧者数=52,423人

(3) 学習投影・幼児投影（学校等団体向け）

幼稚園児、保育園児、小学生及び中学生の団体向けの学習投影で、それぞれの学年等に応じた内容のプログラムを編成し、わかりやすく解説する。

事業名・対象	内 容	期 間	投影回数	観覧者数(人)
幼児向け投影 (幼稚園・保育園 の年長児)	星座や星の物語などを補助投影機を活用しながら構成し、幼児が楽しみながら星の学習ができるように解説する	5/8-7/18 (39日間)	70	21,573 (505園)
		2/25-3/7 (8日間)	15	3,862 (62園)
小 学 校 4年生向け	「冬の星空と太陽・月・星の動き」 冬の星座を探したり、星や太陽、月が時間とともに動いていく様子を観察する	11/26~2/19 (34日間)	57	18,061 (256校)
小 学 校 6年生向け	「地球から宇宙へ」 宇宙の仕組みについて解説し、広大な宇宙の姿にふれるとともに、宇宙の中の人間について解説	9/25~11/22、 12/18 (31日間)	55	17,365 (229校)

【参考】 平成 24 年度

事業名	投影回数	観覧者数(人)
幼児向け投影	81	24,978 (552 園)
小学校 4年生向け	61	18,990 (261 校)
小学校 6年生向け	54	16,866 (223 校)

(4) 特別投影

テーマについてじっくり解説する大人むけの夜間の特別投影と、聴覚障害者の方も健常者とともに鑑賞できるようにライブで解説を字幕で投影する投影。

事業名	内 容	期 日	参加者数(人)	対 象	平成 24 年度 参加者数(人)
夜 間 投 影	18 時半からの大人むけプログラムです。一般投影の内容を基本に映像演出や話題を加え投影	4/12、5/10、6/14、 7/7、8/23、9/19、 10/11、11/8、12/23、 1/10、2/14、3/14	3,293	一 般	3,568
字幕付き プラネタリウム	一般のプラネタリウム番組に字幕を付けて投影	3/21	324	一 般 (聴覚障害者を含む)	634

4 教育普及事業

(1) 天文分野

(講師：敬称略)

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数(人)	共催者等
昼間の星をみる会 天文台の望遠鏡で昼間にみえる星を観望	4月28日(日) ～3月23日(日) (24回)	15,070	
市民観望会 天文台の口径80cm大望遠鏡や「星のひろば」に設置した望遠鏡で、観望条件のよい天体をご覧いただく。	4月20日(土) ～ 3月8日(土) (12回)	2,100	
第29回宇宙技術および科学の国際シンポジウム(ISTS)国際宇宙展示会 国際宇宙展示会を広く一般に周知するため、航空宇宙産業に関する展示を行う。	6月2日(日)～ 6月9日(日)	9,141	第29回ISTS実行委員会
航空宇宙フェア-中部から大空へはばたく- 航空宇宙関連の各種模型の展示、計器装置体験、大学の研究紹介など	6月8日(土) ・9日(日)	4,035	(一社)日本航空宇宙学会中部支部
おんたけ星座教室 木曽御岳の雄大な自然の中にある名古屋市民おんたけ休暇村で天体観測を行う。	8月9日(金)～ 8月10日(日)	60	名古屋市民御岳休暇村
プラネタリウムと星空観察会(星空継続観察) 星空の見え方を継続観察することで、星をみえにくくしている光害の実態とその推移を調査する。	7月28日(日)・ 1月25日(土)	37名(18組) 40名(20組) 小学4年～中学3年生と保護者	名古屋市環境局

(2) 理工分野

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数(人)	共催者等
飛ばして学ぼう！ロケットと宇宙のひみつ 宇宙開発についての話、ペットボトルロケットを製作し、白川公園で打上げ (小学生とその保護者)	4月13日(土)	18組 37	中菱エンジニアリング
飛ばして学ぼう！飛行機のひみつ 飛行機の歴史や飛ぶ仕組みについての話、飛行機を製作し飛ばす教室 (小学3年生～中学生)	6月23日(日)	17	中菱エンジニアリング
科学的な考え方を学び楽しむ化学(科学)実験教室 内容：アルギン酸ビーズができる仕組みを学びビーズができる飲み物を調べる。 講師：愛知教育大学教授 戸谷義明・学生(中学生)	7月6日(土)	21	愛知教育大学
電子工作教室(ジュニアコース) 「おもしろ電子楽器を作ろう」 (小学5・6年生)	7月26日(金)	25	

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数(人)	共催者等
電子工作教室(親子コース) 「時限ランプをつくろう」 (小学3・4年生と保護者)	7月27日(土) 28日(日)	28	
科学実験を楽しむ会 放射線ウォッチング 放射線測定器を製作し、身のまわりの放射線 を測る2日連続講座	7月30日(木) ～31日(金)・ 8月1日(木) ～2日(金)	46	中部原子力懇談会
第16回リフレッシュ理科教室 「磁石でまわる!はねる!とぶ!楽しい工作」 A.「ぎったんぱっこん!不思議な電磁センサー」 B.「どこまで飛ぶかな?ガウスロケット」 C.「ひらひらくるくる!メリーゴーランド」 ① 先生のための実験工作教室 (小中学校の先生) ② こどものための実験工作教室 (小学3年～中学生)	8月9日(金) 10日(土)	177 (内訳) 29 148	(公社) 応用物理学会
～ワクワク実験隊～「鉄の不思議教室」 放電実験や電磁石の実験、手作りカイロな ど、鉄のおもしろい実験の体験 (小学校4～6年)	8月31日(土) (2回実施)	67	(一社) 日本鉄鋼連盟
夏休み親子写真教室 ピンホールカメラをつくって撮影しよう 空き箱に小さな穴をあけてピンホールカメ ラを作り、白黒写真で撮影、現像、プリント をする (小学生と保護者)	8月24日(土) 25日(日) (4回実施)	63組 121 (内訳) (31組) 61 (32組) 60	(公社) 日本写真協会
鉄道の日イベント 「B6型蒸気機関車汽笛を鳴らす」 写真展「よみがえる郷愁の汽笛」	10月14日(祝) 10月8日(日) ～20日(日)	来館者	協力:名古屋を蒸気 機関車の聖地にする 会
かがくの実験室 色と印刷の実験をしよう (小学校5・6年) 講師: DIC株式会社・ DICグラフィックス株式会社	11月23日(土) (2回実施)	33	DIC株式会社 DICグラフィック ス株式会社
ロボットを作って動かそう! (ロボラボ・プログラミング実験教室) (小学校5・6年) 内容: レゴのロボット(ロボラボ)をつくり、 制御プログラムを作って動かす。	11月24日(日)	26	日本アイ・ビー・ エム株式会社

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数(人)	共催者等
第 88 回低温工学・超伝導学会市民公開講座 「超伝導の世界」 ①触れて感じる！超伝導実験 ②超伝導と低温の世界のお話 「役立つ超伝導 ー発見、成長、未来ー」 講師：京都大学教授 雨宮尚之 「低温ふしぎ現象」 講師：筑波大学准教授 池田博	12月7日(土)	1,400	(公社)低温工学・超伝導学会
かがくの実験室 緑茶でハンカチを染めよう (小学3・4年生と保護者)	3月21日(祝) (2回実施)	15組 30	
かがくの実験室 雪と氷を楽しもう (小学生とその保護者)	3月29日(土) 30日(日) (4回実施)	64組 126	

(3) 生命環境分野

(講師：敬称略)

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数(人)	共催者等
第 12 回ヒメボタルサミット in 愛知 基調講演「ヒメボタルのサナギの発光について」 講師：名古屋大学生命農学研究科 別所学 事例発表、観察地紹介、ヒメボタル Q&A	5月26日(日)	130	「ヒメボタルサミット in 愛知」実行委員会
名古屋市科学館・福井県立恐竜博物館 連携イベント「ふくい恐竜ライブ！」 福井から発見された恐竜の復元骨格「フクイサウルス」やティラノサウルスなどを展示 ①サイエンストーク	6月14日(金)～ 16日(日)	250	福井県立恐竜博物館
②サイエンスカフェ テーマ：化石を研究する方法～ニセモノだなんて言わないで 講師：福井県立恐竜博物館主任研究員 一島啓人	6月15日(土)	35	
③地球工房スペシャル 恐竜時代の化石の観察や標本づくり	6月14日(金)～ 16日(日)	288	
科学館いちにち昆虫教室 ①昆虫標本作り講習会 ②昆虫標本などの展示	8月1日(木)	①60 (見学170) ②500	健康福祉局生活衛生センター
かがくゼミナール ①「タンポポから考える生物多様性」 講師：愛知教育大学教授 渡邊幹男	4月28日(日)・ 5月12日(日) 2回連続	26 (小人10・大人16)	
②「お口のはたらきを調べてみよう」(歯のびっくりサイエンス パート24) 講師：愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座 森田一三 (小学校3年生～中学生と保護者)	8月8日(木)	14組 43 (小人29・大人14)	協力：愛知県歯科医師会 歯のびっくりボランティアーズ

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数(人)	共催者等
③「たいばん物語～いのちをつなぐバトン」 講師：愛知県医師会立名古屋助産師学院 副校長 鈴木和代と「ナーベルプラ座」のみなさん (小学校3年生～中学生と保護者)	8月27日(火)	38 (小人20・大人18)	
④「くすりのなかみを見てみよう」～薬との上手なつきあい方 パート8～ 講師：名古屋市薬剤師会 長谷川摂子 (小学校3年生～中学生と保護者)	2月2日(日)	30 (小人16・大人14)	
あいちの農林水産業を支えるサイエンスウィーク ①「遺伝子とは何？DNAを見てみよう」 ブロッコリーからDNAを抽出。 ②「チリメンモンスターを探せ」 チリメンジャコに入っている生物を観察。	8月29日(木) 8月30日(金)	26 45	愛知県農林水産技術会議 (農業総合試験場) (水産試験場)
日本農芸化学会サイエンスカフェ in 名古屋市科学館「ホタルの光はなぜだらけ」 講師：名古屋大学大学院生命農学研究科 助教 大場裕一	11月16日(土)	40	(公社) 日本農芸化学会
サイエンスカフェ 「地層の中に隕石衝突の証拠を求めて」 講師：九州大学大学院博士課程 佐藤峰南	3月8日(土)	30	

(4) 講演会・セミナー及び映画等 (サイエンスホール)

(講師：敬称略)

事業名及び内容	開催期日	参加者数(人)	共催者
科学技術週間記念講演会 テーマ：エレベーターに乗って 宇宙へ行こう！ 講師：株式会社大林組 技術本部 主任技師 石川洋二	4月20日(土)	305	(公財) 中部科学技術センター
科学技術映像祭入選作品発表会 「NHK スペシャル 大海原の決闘！クジラ対シャチ」 (49分 内閣総理大臣賞)			
第40回「化石を語る」文化講演会 「日本にいたオオカミ、オオヤマネコなどの 中型食肉類の話」 講師：群馬県立自然史博物館名誉館長 長谷川義和	4月29日(祝)	226	東海化石研究会 中日新聞社
憲法週間記念行事 第1部 講演&トークショー 「夢は終わらない」 講師：宇宙飛行士 山崎直子 弁護士 大崎厚志 コーディネーター： 弁護士 後藤昌弘 第2部 プラネタリウム観覧	5月18日(土)	300	愛知県弁護士会

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数(人)	共催者等
航空宇宙フェア 宇宙技術講演会 「中部地区発人工衛星 Chubu-Sat-1 の開発と将来の展望」 講師：名古屋大学教授 田島宏康 「中部発宇宙へ～ロケット・宇宙ステーションの製造と運用～」 講師：三菱重工業株式会社 山中昌弘 「JAXA 名古屋空港飛行研究拠点と実験用航空機」 講師：宇宙航空研究開発機構 飛行技術研究センター長 柳原正明	6月8日(土) 9日(日)	609	(一社)日本航空宇宙学会中部支部
名古屋市教育委員会教育シンポジウム 「ドキドキ・ワクワクをさがせ ミュージアムの魅力の発信」 基調講演：「私のミュージアムの楽しみ方」 女優 真野響子 真野響子氏との対談 など	7月15日(祝)	280	
第20回生きている地球の記録 地球環境映像祭2012年度受賞作品の上映 「ビューティフル アイランズ」 始め14本	7月27日(土) 28日(日)	460	(公財)三菱 UFJ 環境財団 中日新聞社 アース・ビジョン組織委員会
第22回公開セミナー 「天文学の最前線～新時代の技術で挑む 宇宙の謎～」 (高校生以上) ① 講演会・座談会・プラネタリウム ② 体験型研究室紹介	8月19日(月) ～21日(火)	331 (科学館)	名古屋大学大学院 理学研究科
講演会 日本初の誇れる有人宇宙システム 「きぼう」 講師：三菱エンジニアリング 工学博士 田中秀孝	9月8日(日)	128	三菱エンジニアリング
第3回ブラザー環境講演会 第1部 講演会「森から未来を見る」 講師：作家 C.W.ニコル 第2部 プラネタリウム観覧	10月12日(土)	350	ブラザー工業株式会社
第12回 坂田・早川記念レクチャー アインシュタインに見る20世紀の物理学 講師：京都大学名誉教授 佐藤文隆	12月15日(日)	216	名古屋大学大学院 理学研究科

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数(人)	共催者等
第16回自然科学研究機構シンポジウム 「天体衝突と生命進化」 ①イントロダクション 「チェリャビンスク隕石：何が起きたのか?」 国立天文台教授 渡部潤一 ②講演 「地球接近天体とスペースガード」 宇宙航空研究開発機構准教授 吉川真 「天体衝突で何が起ころのか」 東京大学教授 杉田精司 「天体衝突が残した地質学的痕跡」 熊本大学准教授 尾上哲治 「史上最大の大量絶滅とブルームの冬」 東京大学教授 磯崎行雄 ③パネルディスカッション 吉川真、杉田精司、尾上哲治、 磯崎行雄、渡部潤一	3月8日(土)	313	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構
第4回ブラザー環境講演会 第1部 講演会「環境と社会・ソーシャル&エコなコミュニティデザイン」 講師：「ソトコト」編集長 指出一正 第2部 プラネタリウム観覧	3月15日(土)	350	ブラザー工業株式会社
第34回古川為三郎サイエンス講演会 「小さな生きものが教えてくれる 脳のしくみ」 講師：名古屋大学大学院理学研究科 生命理学専攻教授 森郁恵	3月21日(祝)	128	

(5) フェスティバル及びイベント

(講師：敬称略)

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数(人)	共催者等
科学館フェスティバル 青少年のための科学の祭典 2013 名古屋大会 会場：名古屋市科学館・でんきの科学館	10月5日(土) 6日(日)	2,569 (5,704) ()内はでんきの科学館含む	「青少年のための科学の祭典」名古屋大会実行委員会 (公財)中部科学技術センター (公財)日本科学技術振興財団・科学技術館 中日新聞社

(6) 連携事業 (連携協定に基づき実施)

(講師：敬称略)

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数(人)	共催者等
親子対象フィールドセミナー 地球教室 学習した後現地で実習する (2日連続) (小学3年生～中学3年生と保護者)		115 (内訳)	
①深海の地層と化石を調べよう(名古屋大学博物館、南知多の海岸)	5月25日(土) 26日(日)	27	名古屋大学博物館
②河原で宝石と歴史を見つけよう!(名古屋大学博物館、矢作川の河原)	8月31日(土) 9月1日(日)	34 33	協力 ・愛知大学名古屋一般教育研究室 ・蒲郡市生命の海科学館
③ナゴヤで化石を探そう(名古屋大学博物館、名古屋駅周辺と栄地区)	10月26日(土) 27日(日)	25 22	
④鉱物をさがそう! (名古屋市科学館、蒲郡市生命の海科学館、三田石材(愛知郡西尾市)) (小学3年生～中学3年生と保護者)	2月22日(土) 23日(日)	29	
スペースキャンプ 宇宙開発・天文分野の見学・講座・実習・研究発表 (小中学生)	7月28日(日) ～31日(水) ※科学館は 28日・30日	24	(独)宇宙航空研究開発機構
イプシロンロケット打上げ パブリックビューイング 打上げは直前で中止となったが、放送終了まで中継映像を放映	8月27日(火)	650	(独)宇宙航空研究開発機構
イプシロンロケット打上げ パブリックビューイング	9月14日(土)		
名古屋市科学館・中京大学連携講座 「動く昆虫メカをつくろう！」 (小学生)	9月29日(日)	20	中京大学
中京大学ソフトサイエンスシリーズ第34回 「情報通信とそれを支えるモノづくりの課題」 講師：西日本電信電話株式会社相談役 阪神高速道路株式会社相談役会長 森下俊三 会場：中京大学	10月24日(木)	312	中京大学
ソユーズロケット打上げ パブリックビューイング	11月7日(木)	200	(独)宇宙航空研究開発機構

(7) 出前ミュージアム(その道の達人事業)及び館外事業

職員やボランティアが小中学校へ出向き、日ごろ学校では実施困難な大型機材を活用した科学実験ショー、身近な材料を使用した科学工作の指導及び学芸員によるオリジナルな資料等を使用した科学講座を展開し、ふだんと一味違った授業を行った。

①出前ものづくり工房(ものづくりボランティア)

テーマ	区	学校名	学年	月	日	曜	参加者数	ボランティア数
虹の筒	名東	西山小学校	2	6	6	木	222	12
息をする人形	緑	鳴子小学校	6	6	11	火	49	8
びっくりへび	中	松原小学校	1	6	18	火	39	4
虹の筒・ぱたぱたチョウ・浮沈子・息をする人形	守山	西城小学校	2・3・4・6	6	21	金	159	8
びっくりへび	天白	しまだ小学校	1	6	25	火	67	4
びっくりへび	港	小碓小学校	2	7	3	水	77	4
びっくりへび・虹の筒	中村	日吉小学校	1・2	7	9	火	113	8
びっくりへび・虹の筒	港	東築地小学校	1・2	9	10	火	187	12
びっくりへび・虹の筒	天白	相生小学校	1・2	9	25	水	44	4
虹の筒	昭和	滝川小学校	2	10	17	木	121	8
びっくりへび・虹の筒	緑	桃山小学校	1・2	11	6	水	169	8
虹の筒	緑	大高小学校	2	11	13	水	92	8
ぱたぱたチョウ	名東	高針小学校	3	11	19	火	67	4
びっくりへび	中川	明正小学校	2	11	21	木	51	4
びっくりへび・ぱたぱたチョウ	昭和	伊勝小学校	1・2・3	11	28	木	115	8
虹の筒	名東	藤が丘小学校	2	12	3	火	89	4
びっくりへび	北	六郷北小学校	1・2	12	5	木	49	4
びっくりへび	西	平田小学校	1・2	12	11	水	144	8
びっくりへび	中川	戸田小学校	2	12	19	木	118	8
びっくりへび・ぱたぱたチョウ	名東	猪子石小学校	2・3	1	15	水	131	8
虹の筒・ぱたぱたチョウ	北	楠西小学校	1・2・3	1	21	火	172	8
浮沈子・からまり時計	中村	八社小学校	4・5	1	28	火	97	8
びっくりへび・虹の筒・ぱたぱたチョウ	瑞穂	瑞穂小学校	1・2・3	2	4	火	189	12
ぱたぱたチョウ・浮沈子・からまり時計	名東	牧の原小学校	3・4・5	2	7	金	89	8
びっくりへび	南	明治小学校	1	2	12	水	77	4
ぱたぱたチョウ	千種	宮根小学校	3	2	19	水	46	4
ぱたぱたチョウ・からまり時計	昭和	鶴舞小学校	3・5	2	21	金	73	4
びっくりへび・ぱたぱたチョウ	中川	玉川小学校	2・3	2	25	火	106	8
計				28回			2,952	192
平成24年度実績				26回			2,945	192

②出前サイエンスゼミナール（学芸員）

内 容	実施学校名	開催期日	参加者数(人)
プールのヤゴを救おう	牧の原小学校 4年生	6月5日(水)	30
空気のカ	平針小学校 4年生	6月26日(水)	111
	小碓小学校 4年生	6月27日(木)	68
	松原小学校 4年生	6月28日(金)	39
	豊が丘小学校 4～6年生	11月26日(火)	24
岩石の観察と地球の歴史	太子小学校 6年生	9月25日(水)	62
	小坂小学校 6年生	10月16日(木)	63
	見付小学校 6年生	10月29日(火)	77
	戸田小学校 6年生	11月13日(水)	91
雪の結晶をつくろう	鳴子小学校 4～6年生	12月10日(火)	26
	表山小学校 6年生	1月31日(金)	87
計		11回	678
平成24年度実績		13回	908

③トワイライト事業（運営員）

内 容	実施学校名	開催期日	参加者数(人)	共 催 者
低温の実験・静電気の実験	福田小学校	4月25日(木)	45	(公財)名古屋市教育スポーツ協会
	明治小学校	5月16日(木)	58	
	西城小学校	10月17日(木)	56	
	長根台小学校	11月7日(木)	26	
	梅森坂小学校	11月28日(木)	72	
	植田東小学校	2月20日(木)	154	
計		6回	411	
平成24年度実績		6回	299	

(8) ボランティアの養成及び活用

①天文ボランティア (ALC) 登録者数 147 人

事業名及び内容	開催期間	参加ボランティア (人)
【養成】 天文事業指導者養成講座 天文事業の指導助手となるボランティアの養成講座で、参加資格は高校生以上(基礎講座5回・実技講座5回)	10月27日 ～ 3月23日	265
【活用】 天文事業指導者養成講座終了者で構成される天文指導者クラブ員を、天文事業(市民観望会・昼間の星をみる会など)の指導者や指導助手として活用	4月20日 ～ 3月23日	878

②ものづくりボランティア 登録者数：127人

事業名及び内容	開催期間	参加ボランティア (人)
【養成】 ものづくりボランティア教室 ものづくり工房をはじめとして、各種行事において、実験工作などの指導者となるボランティアの養成(講座7回)で、参加資格は18歳以上。受講修了者のうち希望する者はものづくりボランティアとして登録	11月23日 ～ 2月1日	16
【活用】 館の事業(ものづくり教室・ものづくり工房など)のほか、生涯学習センター等が主催する事業や出前ものづくり工房の講師・助手として活用 ①ものづくり工房 毎週土曜日(夏・冬・春休み中を除く) ②ものづくり教室 第3土曜日(7・8月を除く)	(注) 活用状況は、別掲の「名古屋少年少女発明クラブ」の項に掲載	
【ものづくりひろば】 ものづくりボランティアの自主活動として、休日・祝日等に来館した子どもたち対象に小規模なものづくり工房を実施し、同時にボランティアの研修の場ともしている。	4月～3月 合計45回	161 (参加者数) 3,630
【関連事業】 生涯学習施設、小中学校及び関係団体等との連携事業で講師、又は助手として指導	6月23日 ～ 3月23日	80 (参加者数) 1,478
1) 生涯学習センターとの連携 ①中川生涯学習センター「青年ふれあい日曜学校」 ②千種生涯学習センター「親子科学教室」	7月14日 3月8日	内訳 ()内は参加者数 5 (27) 4 (26)
2) 学校・PTAとの連携 ①大高北小学校PTA ②田代小学校PTA「ふれあい広場」 ③栄小学校(全国小学校理科研究大会 愛知大会)	9月19日 10月19日 10月25日	3 (24) 4 (350) 12 (23)

事業名及び内容	開催期間	参加ボランティア (人)
3) 類似施設との連携		
①とだがわこどもランド「創造の部屋イベント」	7月20日・3月23日	10 (68)
②東邦ガス「エコ教室」	6月23日・2月23日	10 (120)
③東邦ガスガスエネルギー館	11月17日	5 (31)
④藤浪コミュニティ「夏休み工作教室」	8月6日	4 (25)
⑤草平コミュニティ「夏休み工作教室」	8月7日	4 (25)
⑥中文化センター「夏休み工作教室」	7月31日	4 (19)
⑦瑞浪市「おもしろ科学館 in みずなみ 2013」	11月2日～11月4日	15 (740)
4) 出前ものづくり工房	(注)活用状況は、別掲の「出前ミュージアム」の項に掲載	
楽しい鉄道模型 ボランティアが持ち寄ったいろいろな列車模型の走行	6月16日(日) 10月13日(日)・ 11月3日(祝)・ 2月2日(日)	来館者対象

③展示室ボランティア 登録者数：186人

事業名及び内容	開催期間	参加ボランティア (人)
【養成】 展示室ボランティア養成講座(2時間30分×8回) 常設展示等の説明・安全指導等を行うボランティアの養成 講座参加資格：18歳以上	1月12日 ～ 3月9日	25
【活用】 常設展示等の説明、常設展示等の利用にあたっての安全指導、常設展示等の運営の補助業務に活用	4月1日 ～ 3月31日	延べ 4,513
【研修等】 総会	4月13日(土)	126
フォローアップ研修 第1～6回(延べ11回実施)	4月～3月	762
生命ラボ実体顕微鏡研修(3回実施)	6月11日(火) ～13日(木)	27
タッチ&トーク研修 20回実施	6月9日(日) ～1月15日(水)	165
特別展「深海たんけん！」ボランティア向け解説会	7月27日(土)・ 28日(日)	81
ボランティア向け特別講座 「ゴビ砂漠恐竜発掘現場の真実」	10月19日(土)	56
特別展「チョコレート展」ボランティア向け解説会	1月11日(土)	34

事業名及び内容	開催期間	参加ボランティア (人)
特別展「発掘！モンゴル大恐竜展」ボランティア向け解説会	3月21日(金)・ 23日(日)	57
ミニレクチャー「生命と酸素-酸素の二面性-」 講師：展示室ボランティア 幸村定昭氏	2月22日(土)	30

④B6 蒸気機関車整備ボランティア 登録者数：17人

屋外展示のB6型蒸気機関車の調査及び整備を行う。

開催日	参加ボランティア(人)
1月13日(日)	9
2月9日(日)	10
3月9日(日)	8

(9) 科学館友の会

昭和 38 年 4 月に発足した「名古屋星の会」と昭和 41 年 7 月に発足した「科学館友の会」を前身とする。昭和 53 年 4 月からは科学館振興協会の一部会として運営されていたが、平成 16 年 3 月の科学館振興協会の解散に伴い、平成 16 年 4 月から（公財）中部科学技術センターの協力のもとに運営されている。

①天文クラブ

会員数 1,038 人（一般クラス） 会費 3,000 円

(例会)

区分	一般クラス(高校生以上)
例会	年 6 回木・金曜日（年 6 回実施） 18:30～20:00
1	プラネタリウム・ダイジェスト 2
2	国際宇宙ステーションを見る
3	木星の楽しみ方
4	オーロラの科学
5	天の川伝説
6	デジタルプラネタリウムの天文学

(特別行事)

内 容	開催期日	参加者数 (人)
おんたけ星座教室〈名古屋市民御岳休暇村〉	8月9日(金)～11日(日)	60 (うち天文クラブ 8)
特別天体観望会 土星 午後 8 時～9 時	6月7日(金)	64
月 午後 7 時～8 時	10月17日(木)	145

②サイエンスクラブ

会員数 448 人（小学生クラス：320 人 会費 7,000 円、中学生クラス：128 人 会費 8,000 円）

(例会)

区分	小学生クラス(小学 5・6 年生)	中学生クラス
例会	年 6 回 土・日曜日 A～D 10:00～12:40 (計 40 回実施) E、F 9:45～10:40 (計 2 回実施)	年 6 回 土・日曜日 A～D 10:00～12:40 (計 16 回実施) E、F 9:45～10:40 (計 2 回実施)
A	かんたんアニメーションをつくろう	草木染め
B	にぼしの解剖	石の万華鏡をつくろう
C	電気パンケーキをつくろう	ブタの水晶体を見てみよう
D	電子ピカピカ蛍をつくろう	対数計算機
E	星座を見つけよう	月世界へようこそ
F	宇宙へ飛び出そう！	星の一生とブラックホール

(夜間観望会)

内 容	開催期日	参加者数 (人)
土星 午後 8 時～9 時	7月21日(日)	705 (413 保護者含む)
木星 午後 7 時～8 時	3月15日(土)	554 (347 保護者含む)

③先進科学塾

高校生以上を対象とした、実験を主体とした講座。

先進科学塾@名大

6月8日(土)・9日(日) 一日講座

テーマ：光と色の不思議を探る

会 場：名古屋大学理学部

参加者：33 人

8月31日(土)・9月1日(日) 一日講座

テーマ：音を見る!

会場：名古屋大学理学部

参加者：31 人

(10) 名古屋少年少女発明クラブ

平成14年度から18年度までの「発明発見創造クラブ」を、全国的な広がりを持つ「少年少女発明クラブ」に移行し、これまでの科学館を活動の場としたものづくり工房・教室、地球工房・教室に加えて、館を拠点にして名古屋市内5箇所で、会員制の出前教室を行う。

- ①「ものづくりコース」 ものづくりの楽しさや、科学への興味、関心を高める。来館した小中学生を対象に、身近な素材を利用して簡単な科学工作を行う。ものづくりボランティアの指導を受けながら、ものづくりの大切さを知らせる。

1)ものづくり工房 (土曜日・無料)

月	工 作 内 容	日数	参加者数(人)	月	工 作 内 容	日数	参加者数(人)
4	からくり折り紙	4	460	11	ゆらゆらドーム	4	265
5	ころりんこ	3	242	12	おりがみ戦隊 オキルンジャー	3	301
6	THE セミ	5	419	1	とんとん☆あにまる	3	345
7	ねじり風車	3	325	2	トルネードストロー	4	411
9	ぴーひょろろ	4	505	3	フーフー風車	4	504
10	プテラノドン	3	201	計		40	3,978

【参考】 平成24年度開催日数 40日
平成24年度参加者数 4,615人

2)ものづくり教室 (第3土曜日等・有料)

開催期日	工 作 内 容	参加者数(人)	開催期日	工 作 内 容	参加者数(人)
4月20日	光るネコカップ	29	11月16日	ぶんぶんみつばち	14
5月18日		11	12月21日	ガチャでジャイロゴマ	28
6月15日	プラネタリウム	12	1月18日		30
9月21日		9	2月15日	まほうの のぞき箱	16
10月19日	ぶんぶんみつばち	15	3月15日		16
計					180

3)出前ものづくり教室

小中学校及び関係団体等との連携事業で講師、または助手として指導

場 所 及 び 内 容	開催期間	参加者数(人)
①八社小学校4・5年生「浮沈子・からまり時計」	1月28日(火)	252 (ボランティア16)
②野田小学校3年生「ぱたぱたチョウ」	3月4日(火)	
③長須賀小学校3年生「ぱたぱたチョウ」	3月7日(金)	
④愛知小学校3年生「ぱたぱたチョウ」	3月11日(火)	

4)ものづくり教室(デリバリー) (会員制・有料)

対象：小学4年～中学生(各教室延べ8回)

	千種	瑞穂	天白	西	中川	計	延べ参加者数(人)
会員数(人)	29	30	24	25	24	132	1,056

開催期日	工 作 内 容
第1期(4～7月)4日間	自動シャボン玉発生器をつくろう
第2期(10～12月)4日間	茶運び車をつくろう

【参考】 平成24年度開催回数 40回
平成24年度参加者数 1,056人

5) 「自由創作教室」(会員制・有料)

対象：小学5年生～中学生(平成22～24年度クラブ員(希望者))

開催期日	工 作 内 容	7 月	8 月	参加者数(人)
7月・8月(5日間)	自由テーマで作品を製作	44	66	110

【参考】 平成24年度開催日数 7日間
平成24年度参加者数 59人

②「ロボットコース」 これからのものづくりに求められるソフトウェアに強い人材を育成する。ロボットの機械の動きを制御するプログラミング能力を高める。

1) ロボット工房 (毎月第1・第3日曜日・無料) ※参加者数は見学者を含まない

月	開催日数	参加者数(人)	月	開催日数	参加者数(人)
4	2	30	10	1	32
5	1	18	11	2	31
6	2	33	12	2	47
7	2	36	1	2	32
8	—	—	2	2	48
9	3	63	3	2	52
		計	21		422

【参考】 平成24年度開催日数 21日
平成24年度参加者数 2,796人(見学者含む)

2) ロボット教室

- ・開催期日 毎月第3日曜日と8月15日(木)・16日(金)
- ・対 象 小学校4年～中学生
- ・内 容 ロボットの組み立て(初級者向け)
- ・参加費 16,000円

開催期日	参加者数(人)	開催期日	参加者数(人)
4月21日	9	9月15日	10
5月19日	9	11月17日	6
6月16日	9	1月19日	10
7月21日	5	2月16日	5
8月15・16日連続	15	3月16日	9
		計	87

【参考】 平成24年度開催日数 11日
平成24年度参加者数 97人

3) 発展型キロボ教室

- ・対 象： 小学校4年～中学生
- ・内 容： ロボットの組み立てとプログラミング(中級者向け)
- ・参加費： 無料

月	開催日数	参加者数(人)	月	開催日数	参加者数(人)
4	2	20	10	—	—
5	1	9	11	1	13
6	2	23	12	—	—
7	2	22	1	—	—
8	1	18	2	1	19
9	3	35	3	2	17
		計	15		176

【参考】 平成 24 年度開催日数 2 日
平成 24 年度参加者数 27 人

4) ロボカップジュニア大会

○ロボカップジュニア名古屋オープン

- ・開催期日 10 月 19 日 (土)
- ・会場 名古屋市科学館 イベントホール
- ・参加者数 小学 5 年～高校生 (サッカーロボット経験者対象) 14 チーム・27 人
- ※サッカー A 上位 2 チームが東海ブロック大会出場

○ロボカップジュニア名古屋大会

- ・開催期日 10 月 20 日 (日)
- ・会場 名古屋市科学館 イベントホール
- ・参加者数 小学 4 年～中学生 (サッカーロボット初心者対象。名古屋市科学館のロボット教室参加者や、名古屋少年少女発明クラブで支援している市内小中学校からも参加。) 19 チーム・38 人
- ※サッカー A 上位 3 チームが東海ブロック大会出場

○ロボカップジュニア東海ブロック大会

- ・開催期日 12 月 14 日 (土)
- ・会場 愛知工業大学名電高等学校 淳和記念講堂
- ・内容 地区大会 (名古屋大会始め 10 地区) から選抜されたチームが対戦し、日本大会選抜者を決定する。競技種目はサッカー・レスキュー・ダンスの 3 種目。
- ・参加者数
 サッカー A 20 チーム (40 人) ※名古屋からは 5 チーム (10 人)
 サッカー B ライト 7 チーム (14 人) ※名古屋からは 1 チーム (2 人)
 サッカー B オープン 5 チーム (14 人) ※名古屋からは 2 チーム (6 人)
 レスキュー A プライマリ 24 チーム (26 人)
 レスキュー A セカンダリ 16 チーム (37 人)
 レスキュー B 1 チーム (3 人)
 ダンス プライマリ 8 チーム (18 人)

○他団体へのロボカップジュニアの指導

ロボカップジュニアみえ大会開催指導
 日時 10 月 12 日 (土)
 会場 みえこどもの城

③「地球コース」

地球工房 (毎週土・日曜日、祝日・有料)

月	開催日数	参加者数(人)	月	開催日数	参加者数(人)
4	9	748	10	5	288
5	10	748	11	7	279
6	8	503	12	5	351
※6	3	288	1	9	690
7	5	410	2	7	519
8	9	847	3	11	747
9	11	799	計	99	7,217

※地球工房スペシャル (「ふくい恐竜ライブ！」連携イベント) 分。(再掲)

【参考】 平成 24 年度開催日数 100 日
平成 24 年度参加者数 5,913 人

(11) コンクール事業

事業名及び内容	募集期間	展示期間	区分	参加資格	応募数 (顕彰数)	
平成 25 年度科学創作コンクール ①「科学の夢を描く部門」 (B3判 画用紙) ②「科学工作部門」 (科学的な考えを生かして作った作品) ③「理科自由研究部門」 小3・4、小5、小6、中1、中2、中3の6部門に分け、観察や実験による理科の自由研究レポートを募集 以上3部門に分けて創作作品を募集 ・応募作品の中から、優秀な作品を顕彰し館内で展示 ・中日新聞社、(公財)中部科学技術センター共催	8月24日(土) ~ 9月5日(木)	10月8日(火) ~12日(土) 表彰式 10月12日(土) (参加者84人)	絵画部門	幼児 (3歳以上) 小・中学生 (個人)	175点 (30点)	
			工作部門	小・中学生、 高校生(個人又はグループ)	103点 (21点)	
			小3・4年	小学3年 ~中学生	175点	(51点)
			小5年		100点	
			小6年		71点	
			中1年		400点	
			中2年		307点	
			中3年		65点	
計	1,118点					
第57回日本学生科学賞愛知県展 ・観察や実験による理科の自由研究のレポートを募集 ・応募作品の中から、優秀な作品を顕彰し館内で展示 ・読売新聞社共催	10月8日(火)	10月16日(水) ~10月19日(土) 表彰式 10月19日(土) (参加者120人)	物理	中・高校生、 個人、又は グループ	54点 (11点)	
			化学			
			生物			
			地学			
			一般			

(12) 博物館実習生の受入れ

博物館法施行規則で定められた「博物館実習」を以下のように実施した。

趣 旨	生涯学習の場である科学館の役割を理解し、生涯学習の手法について学び、学芸員としての知識・技能・態度を身につける
実 習 期 間	7月27日(土)~8月7日(水)のうち休館日を除く10日間
実 習 生	名城大学1 東京学芸大学1 日本大学1 合計3人
実 習 内 容	名古屋科学館及び常設展示、大型展示、館内・事業見学、各種教育普及活動見学及び補助、広報活動、ボランティア、実演と説明業務、展示品の保守、天文の事業とプラネタリウム、自主企画、他施設見学など

(13) 職場体験・職場訪問など

①職場体験学習・職場訪問

総合的な学習や社会体験学習の一環として、職場体験学習が行われており、各学校の依頼に対応している。館内の接客業務や実演の準備、展示品の保守管理、資料の整理などの体験活動を行っている。また、職場訪問では、館内の見学をしたり、館内の業務や天文、科学一般、環境についての質問を受けたりしている。

区 分	職場体験	職場訪問
小学校	—	—
中学校	13校 42人	14校 226人
高等学校	2校 5人	—
教 員	5校 5人	—
大 学	1校 3人	—

②大学からのインターンシップ受入

名古屋大学 大学院生（1名） 24日間

③大学卒業研究生の受入

愛知教育大学 1名 「発光生物の展示に関する研究」

5 調査研究

(テーマ1) 「色」の科学について、その展示手法および企画展への活用

「色」は科学に興味のない人にとっても親しみやすいテーマである。来館者に、色の科学的な面白さ不思議さを感じてもらい、科学に興味をもつきっかけとなるよう展示方法について調査した。それに基づき、実験展示を中心とする参加体験型の企画展「色いろカラフルワールド」を開催した(平成25年11月16(土)～12月1日(日))。

(テーマ2) 情報に関する展示・事業の研究

名古屋市科学館では、平成13年から気象庁のアメダスと同等精度で気象観測を行い、データを蓄積している。観測値は10分毎に記録されているが、これを公開することは独自の情報発信の一つになると考えられる。また、気温や雨量など当日朝の観測データは、お客様が来館される際の参考になる。そこで今回、気象データを定期的かつ自動的にツイッターへ投稿するシステムを開発した。

(テーマ3) 全天デジタル映像による天文現象の再現(2)

2011年3月のリニューアルで導入されたデジタル式プラネタリウムはコンピューターで制作した星空や映像コンテンツを、プロジェクターを使ってドーム全面に映し出すことができる。

本研究2年目は、天文現象の再現のための可視化技術の調査習得と、コンピューターシミュレーションによる3DCGでの惑星間空間磁場の再現を行った。

6 印刷物の発行

名 称	内 容	発行部数	主な配布先
アサラスコープ No. 402～405	科学館広報誌 A 4 版 8 頁	83,000	別 掲
名古屋市科学館要覧 (25 年度)	A 4 版 75 頁	500	国内博物館施設 市内生涯学習施設 関係行政機関 科学館協議会委員 企画調査委員 等
名古屋市科学館紀要 第 40 号	調査研究の報告 他 A 4 版 76 頁	350	国内博物館施設 市内生涯学習施設 関係大学図書館等

「アサラスコープ」の主な配布先(配布場所)

市立小・中・特別支援学校、市立高等学校、16 区役所・5 支所、市立図書館、市生涯学習センター、市スポーツセンター、市政情報課、市広聴課、デーリープラザ、市博物館、蓬左文庫、市美術館、市文化財保護室、国内科学館・博物館施設、公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー、公益財団法人中部科学技術センター、科学館友の会会員 等

7 広報活動

種 別	内 容	実施時期	備 考
名古屋市による広報	市長室発行の「広報なごや」に館行事を掲載し、市民への周知に努めた	毎月	市内全戸配布 104 万部
マスコミへの広報	1) 市がもつテレビ・ラジオ番組に、資料を提供し、また、番組にも出演した	随時	新聞社 8 社 放送 6 社 通信 2 社
	2) 市長室広報課の「市政記者クラブ」を通して、広く PR を行った	随時	を始め出版、タウン情報誌など約 80 社
ポ ス タ ー	特別展について、地下鉄、私鉄、市広報板に掲出し、また、市内の学校などに送付した	随時	区役所、生涯学習センターなどの市民利用施設及び関係機関 約 650 か所
アサラスコープ	科学に関する解説や、館の行事予定などをまとめて配布した	年 4 回	(NO. 402) 18,000 部 (NO. 403) 20,000 部 (NO. 404) 20,000 部 (NO. 405) 25,000 部
テレホンサービス	常時、館の情報を流し、利用者の利便向上を図った	毎日	年間利用 約 1,180 回
案内パンフレット・チラシ	行事ごとにパンフレット及びチラシを作成した(見学ガイド、7カ国語リーフレットほか)	随時	
他施設等の広報誌による広報	他施設の広報紙に資料提供し、広く市民に周知を図った(観光ガイド・生涯学習なごやなど)	随時	
ダイレクトメール	県内及び県外の小・中学校、観光旅行者にパンフレットを送付した	随時	
ホームページ	ホームページによる館の情報提供や行事案内を行った	随時	

8 他施設との交流

(1) 国内活動

同種施設との情報交換のほか、下記の協会及び協議会等に加盟し、関係会議、研究会に職員を派遣したほか、関係資料の収集に努めた。

- 全国科学博物館協議会
- 全国科学館連携協議会
- 指定都市科学館連絡会議
- 東海地区博物館連絡協議会
- 愛知県博物館協会
- 日本プラネタリウム協議会
- 天文教育普及研究会
- 日本天文学会
- 東亜天文学会

(2) 国際活動

下記の国際組織に加盟し、積極的に海外博物館資料の収集に努めた。

- 国際プラネタリウム協会 I P S

(3) 視察受入れ

科学館の運営状況などの調査研究、外国人観光客誘致を目的として、多数の国内外の視察者、事業者、マスコミ（博物館施設職員、他都市職員・議員等）を受け入れた。

(4) 芸術と科学の杜

白川公園一帯を「芸術と科学の杜」と位置づけ、地元町内会・商店街、専門学校、文化施設、名古屋市美術館と連携してさまざまな魅力ある事業の展開をした。

【25年度の主な取り組み】

6月8日（土）・9日（日）

- 「伏見サイエンスエリアに行こう」
エコパルなごや・でんきの科学館・名古屋市科学館で各館のスタッフが他館に出向いて実験ショーやワークショップを実施。また3館をまわるスタンプラリーも行った。

10月

- 伏見探索マップ作成（B3両面、カラー 50,000部）
名古屋コミュニケーション・アート専門学校の協力で作成。
飲食店以外にも事業所・まちなかアート作品・地域歴史情報も掲載。

11月2日（土）・3日（日）

- アート大会 市美術館が企画・実施 参加者 のべ 3,700人
白川公園を会場として家族で楽しめるイベント（対象：来館者）
・「巨大アートをつくろう！」
・「スタンプラリーで彫刻をさがそう！」ほか
- 杜の駅@科学館 参加者 のべ 15,149人
・杜のステージ（バンド演奏・大道芸ほか）
・杜のお店（周辺の商店街・専門学校などが出店イベント）
- まち歩きイベント 参加者 のべ 1,154人
街中にある美術作品をさがし、写真を撮ってくるもの。
2日（土）には地元アイドルグループ OS★U と一緒に歩く会も開催。

○エコパルなごや出張ワークショップ in 創造のひろば

開催日	参加者数(人)	開催日	参加者数(人)
5月26日(日)	140	11月24日(日)	89
6月23日(日)	99	12月22日(日)	159
7月28日(日)	266	1月26日(日)	235
8月25日(日)	181	2月23日(日)	656
9月22日(日)	48	3月23日(日)	102
10月27日(日)	184	計	2,159

○エントランスコンサート

開催日	内容
6月30日(日)	スタンダードジャズ演奏(セルバチコ)
8月3日(土)	ハンドベル演奏(金城学院、宮城学院中高)
9月28日(土)	テルミン、マトリョミンコンサート(竹内正実、マール、ダー)
10月12日(土)	ナゴヤまちかどアンサンブル(明和高校音楽科)
10月13日(日)	ナゴヤまちかどアンサンブル(名音大 めいおん電子オルガンアンサンブル)
10月14日(祝)	ナゴヤまちかどアンサンブル(名芸大 竹林笹頼)

○名古屋観光コンベンションビューローとの連携

開催日	事業	内容	
4月5日(金)	春の観光キャンペーン	プラネタリウム観覧と、学芸員による講座・展示室案内を組み合わせたツアー	講座「宇宙のはなし」
4月6日(土)			講座「地下研究のフロンティア」
4月27日(土)	春の観光キャンペーン 「天下一のモノづくりツアー」	バスツアー「天下一のモノづくりツアー 航空宇宙の巻」に協力し、学芸員によるロケットと天文に関する講座を実施	
5月18日(土)			
9月28日(土)	秋の観光キャンペーン	プラネタリウム観覧と、学芸員による講座・展示室案内を組み合わせたツアー	講座「気象と気候のラボラトリー」
10月19日(土)			講座「宇宙のはなし」
10月26日(土)			講座「新旧ロボット対決」
11月16日(土)			講座「光る生きもののひみつ」
11月30日(土)			講座「色のふしぎ」

(5) 研究機関等との相互協定

- 平成24年3月19日(月) 名古屋大学理学部と相互協力に関する協定
- 平成24年5月1日(火) 名古屋大学情報文化学部と相互協力に関する協定
- 平成24年7月18日(水) 宇宙航空研究開発機構と相互協力に関する協定
- 平成25年3月26日(火) 名古屋大学博物館と相互協力に関する協定
- 平成25年9月29日(日) 中京大学人工知能高等研究所と相互協力に関する協定

9 高校生科学力向上促進事業

(1) 電気自動車プロジェクト (平成23年度～25年度)

高校生が、大学のセミナー、企業のインターンシップなどに参加しながら、科学の学習を深め、二次電池の基本である鉛蓄電池を製作し、エジソンの電気自動車に搭載、走行を行う。最新のリチウムイオン電池や電気自動車に関する発展的な学習を通じて、次世代の中部地域の産業を支える人材を育成する。

- 主催：名古屋市科学館、公益財団法人中部科学技術センター
- 共催：名古屋工業大学次世代自動車工学教育研究センター、中日新聞社
- 参加校 名古屋市立菊里高等学校、名古屋市立向陽高等学校、名古屋市立桜台高等学校、愛知県立旭丘高等学校 参加人数 のべ約 110 人

5月3日(金)～6日(日)・ 鉛蓄電池の製作
7月23日(火)～25日(木)
7月26日(金) 名古屋市工業研究所・名古屋産業振興公社見学
電気自動車完成検査(木野工業)
8月1日(木) 電気自動車公開走行実験
8月19日(月)～23日(金) マレーシア日本国際工科院で研究発表
(高校生6人派遣)
デンソーマレーシア工場・GP社本社工場見学など
10月27日(日) 高校生による科学の祭典2013にて発表

(2) 高校生による科学の祭典2013

名古屋市立高等学校の高校生たちが日ごろの研究成果を持ち寄り、来館者に発表(9校14テーマ)。益川敏英名誉館長が来場した。

日 時：10月27日(日)
場 所：イベントホール
参加者：660人

10 その他

名古屋市科学館・名古屋市美術館・名古屋市見晴台考古資料館連携事業

「白川公園のほりだしもの」

主催：名古屋市見晴台考古資料館・名古屋市科学館・名古屋市美術館・
名古屋市中土木事務所

- ・「科学の世界で足下みれば」 2月25日(土)～4月6日(日)

白川公園遺跡の出土品を理工館6階で展示

- ・「石・砂・粘土と土器・石器」 3月26日(火)

見晴台考古資料館 瀬瀬学芸員と科学館 西本学芸員によるタッチ&トーク特別版

- ・白川公園ガイドウォーキング 3月20日(木)、21日(祝)、25日(火)

白川公園を実際に歩きながら、歴史や自然観察の視点から公園の魅力を紹介

1 1 研修講座等

(1) 「全国小学校理科研究大会 愛知大会」への協力

期 間	4月～3月（のべ24回）
参加者	名古屋市立栄小学校児童（学級数7学級）
内 容	学芸員が講師となり、栄小学校児童を対象に科学館や栄小学校において授業を行った。

(2) 全国小学校理科研究大会 愛知大会 公開授業

期 間	10月25日（金）
参加者	名古屋市立栄小学校児童・公開授業参加者約350人
内 容	栄小学校及び名古屋市科学館で、学芸員が解説する等学校授業に協力した（1年生から6年生までの各学級の授業）。

(3) 尾張教育研究会丹葉支部 理科研究部研修会

期 間	8月7日（水）	参加人数	45人
講 師	堀内智子学芸員		
共 催 者	尾張教育研究会丹葉支部理科研究部		

(4) 名古屋市小中学校生産・文化的部活動指導者研修会「科学」の部

期 間	8月20日（火）	参加人数	31人
講 師	堀内智子学芸員		
共 催 者	名古屋市学校教育研究会		

(5) 愛知県理科教育研究会 高等学校部会研究大会

期 間	11月27日（水）	参加者数	160人
-----	-----------	------	------

(6) 愛知県高等学校文化連盟 自然科学専門部 研究発表会

期 間	2月8日（土）	参加人数	465人
-----	---------	------	------

1 2 館外実施事業の状況

（単位：人）

事業名	25年度		24年度		23年度		参照ページ
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	
出前ミュージアム	39	3,630	39	3,853	40	3,791	26ページ
トワイライトスクール	6	411	6	299	6	605	27ページ
地球教室	4	115	4	120	4	97	25ページ
おんたけ星座教室	1	60	1	68	1	45	19ページ
計	50	4,216	50	4,317	50	4,460	

13 情報収集保存活動

(1) 情報資料室

科学に関する最新の資料の収集に努め、来館者の自発的な学習を支援するため、すべての資料(図書・雑誌・コンピューターソフト・映像資料など)を室内自由閲覧・自由使用に供した。

情報資料室データ(平成23年3月理工館1階に移設)

備 品	ソ フ ト	図 書 類
パソコン 6台 インターネット用(5台) 事務・調査用 (1台) ビデオデッキ 4台 VHS再生専用 (2台) DVD・VHS複合機 (2台)	ビデオソフト 956本 VHS (877本) DVD (115本) CD-ROM 218本	図書 約6,520冊 雑誌 21種 月刊誌 (9種) 研究機関誌 (12種) 新聞 1紙 全国科学館・博物館資料 292冊

(2) インターネット

名古屋市科学館では、平成7年度から館内コンピュータネットワークの整備と、そのインターネットへの接続を行い、各種情報の取得などに利用している。また同時に当館ウェブサイト(<http://www.ncsm.city.nagoya.jp/>)の公開も開始した。

平成23年3月19日の新館開館にあわせて、ウェブサイトの全面的な更新を行った。また、各フロア1台、計10台の情報検索端末を導入した。これらはタッチパネルのみで操作でき、日本語及び英語による展示解説の閲覧や展示品の検索ができる。また、ブラウザ機能を利用しているので当館ウェブページやその他のサイトの閲覧も可能である。

ウェブサイトアクセス件数と、情報検索端末アクセス件数は下表のとおりである。

(平成25年度)

月	ウェブサイト アクセス件数	情報検索端末 アクセス件数	月	ウェブサイト アクセス件数	情報検索端末 アクセス件数
4	351,236	5,538	10	301,534	4,857
5	319,019	5,261	11	304,636	4,457
6	320,550	4,259	12	367,968	3,967
7	394,753	5,479	1	404,283	4,929
8	518,095	9,926	2	355,867	4,565
9	352,957	4,439	3	392,783	5,474
			計	4,383,681	63,151

14 平成25年度入館者状況

(1) 月別利用状況 (個人・団体別)

(単位:人)

	入館人員	営業日数	1日平均	個人				団体※						
				大人	高大生	小人	計	大人	高大生	小人	計	市内	市外	電子申請
4月	136,970	24	5,707	82,721	3,916	41,204	127,841	4,053	969	4,107	9,129	2,194	5,269	1,666
5月	116,561	26	4,483	67,462	3,941	23,988	95,391	6,742	658	13,770	21,170	7,194	12,570	1,406
6月	85,924	25	3,437	46,468	3,350	12,661	62,479	7,881	786	14,778	23,445	11,560	10,630	1,255
7月	119,500	25	4,780	69,392	3,516	28,951	101,859	6,223	981	10,437	17,641	7,953	7,341	2,347
8月	247,479	28	8,839	138,447	9,376	79,700	227,523	10,149	490	9,317	19,956	4,108	9,075	6,773
9月	89,565	22	4,071	53,682	6,209	17,952	77,843	4,758	404	6,560	11,722	4,494	6,115	1,113
10月	92,476	26	3,557	45,075	3,464	17,087	65,626	6,696	1,105	19,049	26,850	11,957	13,775	1,118
11月	83,829	25	3,353	39,415	3,232	17,246	59,893	6,410	1,059	16,467	23,936	11,407	11,565	964
12月	88,885	23	3,865	48,818	6,285	19,094	74,197	4,014	1,375	9,299	14,688	7,425	6,109	1,154
1月	122,270	23	5,316	73,979	6,556	25,633	106,168	3,015	233	12,854	16,102	11,603	3,449	1,050
2月	121,612	23	5,287	71,750	10,871	21,783	104,404	3,740	1,104	12,364	17,208	9,139	6,864	1,205
3月	131,855	25	5,274	69,231	10,550	38,715	118,496	5,227	445	7,687	13,359	5,182	6,710	1,467
計	1,436,926	295	4,871	806,440	71,266	344,014	1,221,720	68,908	9,609	136,689	215,206	94,216	99,472	21,518
構成比 (%)	上段 個人・団体別			66%	6%	28%	100%	32%	4%	64%	100%	44%	46%	10%
	下段 全体での割合			56%	5%	24%	85%	5%	1%	10%	15%	7%	7%	1%

※団体には電子申請を含む

(2) 入館者月別利用状況 (利用種別)

(単位:人)

	展示室とプラネタリウム				展示室				合計				当月のプラ ネの割合	プラネの開館 以来の累計
	大人	高大生	小人	計	大人	高大生	小人	計	大人	高大生	小人	計		
4月	27,608	3,092	9,816	40,516	59,166	1,793	35,495	96,454	86,774	4,885	45,311	136,970	30%	16,642,600
5月	32,018	2,757	12,073	46,848	42,186	1,842	25,685	69,713	74,204	4,599	37,758	116,561	40%	16,689,448
6月	31,044	2,700	13,965	47,709	23,305	1,436	13,474	38,215	54,349	4,136	27,439	85,924	56%	16,737,157
7月	30,143	2,346	15,724	48,213	45,472	2,151	23,664	71,287	75,615	4,497	39,388	119,500	40%	16,785,370
8月	32,554	4,298	20,254	57,106	116,042	5,568	68,763	190,373	148,596	9,866	89,017	247,479	23%	16,842,476
9月	24,296	4,020	8,621	36,937	34,144	2,593	15,891	52,628	58,440	6,613	24,512	89,565	41%	16,879,413
10月	29,592	3,475	15,941	49,008	22,179	1,094	20,195	43,468	51,771	4,569	36,136	92,476	53%	16,928,421
11月	26,712	2,809	14,944	44,465	19,113	1,482	18,769	39,364	45,825	4,291	33,713	83,829	53%	16,972,886
12月	23,264	4,572	12,050	39,886	29,568	3,088	16,343	48,999	52,832	7,660	28,393	88,885	45%	17,012,772
1月	23,701	2,748	14,378	40,827	53,293	4,041	24,109	81,443	76,994	6,789	38,487	122,270	33%	17,053,599
2月	23,682	5,644	13,018	42,344	51,808	6,331	21,129	79,268	75,490	11,975	34,147	121,612	35%	17,095,943
3月	27,056	7,345	12,995	47,396	47,402	3,650	33,407	84,459	74,458	10,995	46,402	131,855	36%	17,143,339
計	331,670	45,806	163,779	541,255	543,678	35,069	316,924	895,671	875,348	80,875	480,703	1,436,926	38%	
構成比	23%	3%	11%	38%	38%	2%	22%	62%	61%	6%	33%	100%		

(3) 団体地域別入館者数

(単位:人)

区分		件数	人数	人員 百分率 (%)	区分		件数	人数	人員 百分率 (%)	
地域	地域									
東海	市内	1,640	94,216	48.63%	中国	鳥取	1	10	0.01%	
	愛知	931	52,964	27.34%		島根	1	30	0.02%	
	岐阜	263	11,811	6.10%		岡山	2	50	0.03%	
	三重	278	15,339	7.92%		小計	4	90	0.05%	
	静岡	62	2,670	1.38%	四国	愛媛	1	20	0.01%	
	小計	3,174	177,000	91.37%		小計	1	20	0.01%	
北陸	福井	49	1,978	1.02%	九州	佐賀	1	33	0.02%	
	石川	23	943	0.49%		小計	1	33	0.02%	
	富山	28	930	0.48%	東北	秋田	1	40	0.02%	
	小計	100	3,851	1.69%		宮城	3	44	0.02%	
甲信越	新潟	1	35	0.02%		岩手	1	10	0.01%	
	長野	31	1,228	0.63%	小計	5	94	0.05%		
	山梨	4	161	0.08%	北海道 沖縄	北海道	8	257	0.13%	
	小計	36	1,424	0.74%		沖縄	0	0	0.00%	
関東	東京	7	199	0.10%	小計	8	257	0.13%		
	神奈川	4	86	0.04%	外国	中国	1	20	0.01%	
	千葉	0	0	0.00%		韓国	5	207	0.11%	
	茨城	1	66	0.03%		台湾	1	20	0.01%	
	小計	12	351	0.18%		インドネシア	1	23	0.01%	
近畿	滋賀	81	4,575	2.36%		カナダ	1	20	0.01%	
	京都	64	3,574	1.84%					0.00%	
	大阪	25	1,357	0.70%		小計	9	290	0.15%	
	奈良	7	380	0.20%		その他	不明	0	0	0.00%
	和歌山	7	185	0.10%			小計	0	0	0.00%
	兵庫	6	247	0.13%	合計	3,540	193,728	100%		
	小計	190	10,318	5.33%						

※ 電子申請を含まない

1 年度別入館者数

参 考 資 料

年度	入館者数	内プラネタリウム 入館者数	営業日数 (日)	一日平均	個 人					団 体						
					大 人		中高生	小学生以下	計	大 人		中高生	小学生以下	計	市 内	市 外
昭和37	111,023	111,023	125	888	26,875	—	11,883	15,339	54,097	5,245	—	24,442	27,239	56,926	—	—
38	212,047	212,047	311	682	45,559	—	19,821	25,975	91,355	9,662	—	47,583	63,447	120,692	—	—
39	325,001	265,607	310	1,048	82,423	—	49,650	57,244	189,317	12,275	—	49,259	74,150	135,684	—	—
40	366,296	279,218	308	1,189	94,530	—	55,870	72,624	223,024	13,454	—	49,119	80,699	143,272	—	—
41	375,720	292,208	314	1,197	90,549	—	48,381	72,073	211,003	21,442	—	47,539	95,736	164,717	65,142	99,575
42	379,220	284,639	312	1,215	84,636	—	45,610	71,671	201,917	36,367	—	42,049	98,887	177,303	71,549	105,754
43	431,740	334,008	311	1,388	98,885	—	46,620	91,834	237,339	32,482	—	45,996	115,923	194,401	78,887	115,514
44	453,398	362,255	313	1,449	110,378	—	52,100	107,619	270,097	23,684	—	36,822	122,795	183,301	76,615	106,686
45	445,817	365,216	310	1,438	108,462	—	46,238	112,918	267,618	15,469	—	29,296	133,434	178,199	81,945	96,254
46	470,288	390,347	312	1,507	105,711	—	47,988	118,015	271,714	17,967	—	37,836	142,771	198,574	81,457	117,117
10年累計	3,570,550	2,896,568	2,926	1,220	848,008		424,161	745,312	2,017,481	188,047		409,941	955,081	1,553,069	455,595	640,900
47	464,848	374,054	311	1,495	103,054	—	46,669	130,325	280,048	12,853	—	29,701	142,246	184,800	72,515	112,285
48	497,966	416,138	310	1,606	116,551	—	48,862	137,816	303,229	11,461	—	28,636	154,640	194,737	79,338	115,399
49	510,016	429,438	308	1,656	114,693	—	44,918	141,206	300,817	13,221	—	32,085	163,893	209,199	81,177	128,022
50	553,795	456,725	309	1,792	139,445	—	46,493	167,510	353,448	12,400	—	28,378	159,569	200,347	83,613	116,734
年度	入館者数	内プラネタリウム	営業日数	一日平均	大 人		廃 止	中学生以下	計	大 人		廃 止	中学生以下	計	市 内	市 外
51	495,551	407,415	282	1,757	135,069	—	—	166,156	301,225	17,118	—	—	177,208	194,326	83,852	110,474
52	501,747	394,632	296	1,695	142,757	—	—	163,125	305,882	15,055	—	—	180,810	195,865	87,483	108,382
53	519,689	386,720	296	1,756	152,733	—	—	174,502	327,235	17,172	—	—	175,282	192,454	77,568	114,886
54	515,791	391,944	296	1,743	151,304	—	—	164,754	316,058	17,744	—	—	181,989	199,733	78,791	120,942
55	593,571	390,348	296	2,005	151,989	—	—	150,296	302,285	57,522	—	—	233,764	291,286	178,904	112,382
56	477,384	381,592	295	1,618	148,900	—	—	136,897	285,797	14,196	—	—	177,391	191,587	77,275	114,312
20年累計	8,700,908	6,925,574	5,925	1,469	2,204,503		611,103	2,277,899	5,093,505	376,789		528,741	2,701,873	3,607,403	1,356,111	1,794,718
57	476,272	378,781	296	1,609	149,775	—	—	134,148	283,923	17,891	—	—	174,458	192,349	83,642	108,707
58	418,701	310,786	297	1,410	135,770	—	—	110,113	245,883	14,442	—	—	158,376	172,818	71,103	101,715
59	452,249	347,805	296	1,528	154,924	—	—	113,062	267,986	18,167	—	—	166,096	184,263	86,574	97,689
60	499,750	369,976	295	1,694	169,253	—	—	114,491	283,744	32,037	—	—	183,969	216,006	120,435	95,571
61	421,309	349,585	296	1,423	162,703	—	—	98,694	261,397	15,590	—	—	144,322	159,912	76,031	83,881
62	571,611	393,271	297	1,925	196,068	—	—	128,928	324,996	75,423	—	—	171,192	246,615	167,887	78,728
63	440,089	344,212	264	1,667	176,202	—	—	119,364	295,566	16,264	—	—	128,259	144,523	76,938	67,585
平成元	636,758	368,132	292	2,181	301,961	—	—	148,123	450,084	46,153	—	—	140,521	186,674	122,284	64,390
2	738,855	406,299	296	2,496	343,438	—	—	173,796	517,234	47,614	—	—	174,007	221,621	135,999	85,622
3	726,889	359,142	296	2,456	377,902	—	—	193,828	571,730	22,825	—	—	132,334	155,159	75,659	79,500
30年累計	14,083,391	10,553,563	8,850	1,591	4,372,499		611,103	3,612,446	8,596,048	683,195		528,741	4,275,407	5,487,343	2,372,663	2,658,106

4	709,590	365,808	295	2,405	345,654	—	—	220,654	566,308	21,890	—	—	121,392	143,282	71,870	71,412	
5	676,276	339,482	290	2,332	334,791	—	—	203,974	538,765	18,980	—	—	118,531	137,511	72,245	65,266	
6	684,841	310,854	273	2,509	286,342	—	—	277,186	563,528	30,327	—	—	90,986	121,313	80,964	40,349	
7	733,520	309,803	297	2,470	342,987	—	—	275,551	618,538	15,254	—	—	99,728	114,982	58,901	56,081	
8	680,538	290,105	295	2,307	288,377	—	—	285,073	573,450	12,090	—	—	94,998	107,088	58,336	48,752	
9	610,342	265,050	296	2,062	244,626	—	—	259,373	503,999	12,218	—	—	94,125	106,343	61,823	44,520	
10	711,416	287,398	295	2,412	298,300	—	—	303,425	601,725	13,749	—	—	95,942	109,691	65,938	43,753	
11	724,128	259,983	297	2,438	321,340	—	—	298,372	619,712	10,796	—	—	93,620	104,416	66,764	37,652	
12	544,530	248,740	296	1,840	209,759	—	—	238,172	447,931	10,041	—	—	86,558	96,599	71,320	25,279	
13	550,524	250,887	296	1,860	205,585	—	—	247,957	453,542	11,549	—	—	85,433	96,982	70,942	26,040	
40年累計	20,709,096	13,481,673	11,780	1,758	7,250,260		611,103	6,222,183	14,083,546	840,089		528,741	5,256,720	6,625,550	3,051,766	3,117,210	
14	675,170	232,297	295	2,289	291,794	—	—	315,391	607,185	9,053	—	—	58,932	67,985	43,293	24,692	
15	624,325	250,311	297	2,102	247,780	—	—	296,374	544,154	10,892	—	—	69,279	80,171	52,497	27,674	
16	615,425	226,473	296	2,079	236,606	—	—	306,241	542,847	8,290	—	—	64,288	72,578	51,462	21,116	
17	486,104	231,470	296	1,642	196,483	—	—	217,833	414,316	8,042	—	—	63,746	71,788	50,371	21,417	
年度	入館者数	内プラネタリウム	営業日数	一日平均	大 人	高大生		中学生以下	計	大 人	高大生		中学生以下	計	市 内	市 外	
18	614,577	261,510	296	2,076	248,508	12,480	—	270,513	531,501	8,776	2,756	—	71,544	83,076	53,611	29,465	
19	618,956	250,848	296	2,091	238,472	10,819	—	290,710	540,001	7,461	2,240	—	69,254	78,955	51,378	27,577	
20	607,864	252,363	296	2,054	239,432	12,520	—	278,421	530,373	7,627	2,213	—	67,651	77,491	50,933	26,558	
21	606,157	261,073	295	2,055	236,005	13,274	—	281,485	530,764	6,736	2,335	—	66,322	75,393	51,386	24,007	
22	481,957	181,837	162	2,975	205,740	12,142	—	210,537	428,419	4,838	1,532	—	47,168	53,538	43,911	9,627	
年度	入館者数	内プラネタリウム	営業日数	一日平均	大 人	高大生		中学生以下	計	大 人	高大生		中学生以下	計	市 内	市 外	電子申請
23	1,531,854	589,595	297	5,158	862,732	102,687	—	339,153	1,304,572	72,648	10,128	—	144,506	227,282	97,772	118,936	10,574
50年累計	27,571,485	16,219,450	14,606	1,888	10,253,812	163,922	611,103	9,028,841	20,057,678	984,452	21,204	528,741	5,979,410	7,513,807	3,598,380	3,448,279	10,574
24	1,303,372	564,471	296	4,403	715,968	56,793	—	297,869	1,070,630	82,152	10,887	—	139,703	232,742	106,155	107,518	19,069
25	1,436,926	541,255	295	4,871	806,440	71,266	—	344,014	1,221,720	68,908	9,609	—	136,689	215,206	94,216	99,472	21,518
総計	1,436,926	541,255	295	4,871	806,440	71,266	0	344,014	1,221,720	68,908	9,609	0	136,689	215,206	94,216	99,472	51,161

2 常設展示品

[展示品数235点(理工館130点・天文館36点・生命館54点・大型展示4点・屋外展示8点・その他3点)]

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作年度	備考	
不思議のひろば 理工館2階 (33点)	ひかりのふしぎ	さんしょくのかげ	総合その他	平22	市	
		かげえあそび	総合その他	平22	市	
		ひかりのおえかき	総合その他	平22	市	
		もじゃもじゃかがみ	総合その他	平22	市	
		つかめない?	総合その他	平22	市	
		はんたいかがみ	総合その他	平22	市	
		あくしゅかがみ	総合その他	平22	市	
		へんしんかがみ	総合その他	平22	市	
		おっかけかがみ	総合その他	平22	市	
	すきとおるかがみ	総合その他	平22	市		
	うごきとかたちのふしぎ	ボールコースター	総合その他	平22	市	
		うきでるかたち	総合その他	平22	市	
		ふりこのすなもよう	総合その他	平22	市	
		おどるすなもよう	総合その他	平22	市	
		うかぶボール	総合その他	平22	市	
		すいつくボール	総合その他	平22	市	
	おとのふしぎ	おちにくいかたち	総合その他	平22	市	
		ふしぎなおとのもり	総合その他	平22	市	
		こだまパイプ	総合その他	平22	市	
	かんかくのふしぎ	パラボラ	総合その他	平22	市	
		いろいろなさっかく	総合その他	平22	市	
		すべすべのて	総合その他	平22	市	
		さっかくのへや	総合その他	平22	市	
		ふしぎなりったい	総合その他	平22	市	
ふしぎなえんぱん		総合その他	平22	市		
なつかしのてんじ	きえるからだ	総合その他	平22	市		
	あなたもさつきよくか	総合その他	平3	市		
	NKSじしゃく	総合その他	昭49	寄贈		
	たこのダンス	総合その他	昭39	市		
	イライラぼう	総合その他	平5	市		
あそびのひろば	Go Go! しょうぼうしゃ	総合その他	平13	出品		
	わくわくタワー	総合その他	平22	市		
技術のひろがり 理工館3階 (20点)	街ではたらく機械	ウッディ・プレイランド	総合その他	平22	市	
		モノづくり都市パノラマ	交通・機械	平22	市・寄	
		電車	交通・機械	平22	市	
		クレーン	交通・機械	平22	市	
		大型船	交通・機械	平22	市	
		飛行機	交通・機械	平22	市	
		ロボット	交通・機械	平22	市・寄	
	機械の素	歯車	交通・機械	平1	市	
		滑車	交通・機械	平22	市	
		てこ	交通・機械	平22	市	
		ねじ	交通・機械	平22	市	
		ベルトプーリー	交通・機械	平22	市	
	部品・製品をつくる	けずる	交通・機械	平22	市	
		プレス	交通・機械	平22	市	
		溶接	交通・機械	平22	市	
	身近な機械	鋳物・射出成形	交通・機械	平22	市・寄	
		ミシン	交通・機械	平22	市・寄	
		自動販売機	交通・機械	平22	市・寄	
		掃除機	交通・機械	平22	市・寄	
		時計	交通・機械	平22	市・寄	
	科学原理とのふれあい 理工館4階 (31点)	実験のアトリエ	くらしの中の電子機器	交通・機械	平22	市・寄
			水の波を見る	エネルギー・物理	平22	市
			縦波と横波	エネルギー・物理	平22	市
			電磁波	エネルギー・物理	平22	市・寄
声の振動を見る			エネルギー・物理	平22	市	
音の波を見る			エネルギー・物理	平22	市	
音のフレネルレンズ			エネルギー・物理	平22	市	
ボールの色選び			エネルギー・物理	平22	市	
偏光	エネルギー・物理	平22	市			

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作年度	備考
科学原理との ふれあい 理工館4階 (31点)	実験のアトリエ	屈折	エネルギー・物理	平22	市
		振動する磁界	エネルギー・物理	平22	市
		磁性流体	エネルギー・物理	平22	市
		電磁石	エネルギー・物理	平22	市
		トムソンリング	エネルギー・物理	平22	市
		磁界のかたち	エネルギー・物理	平22	市
		モーター	エネルギー・物理	平22	市
		落ちにくい円盤	エネルギー・物理	平22	市
		モンキーハンティング	エネルギー・物理	平22	市
		加速度と距離	エネルギー・物理	平22	市
		回る水槽	エネルギー・物理	平22	市
		モーメント	エネルギー・物理	平22	市
	転がる円盤	エネルギー・物理	平22	市	
	パラボラの反射	数学・情報	平22	市	
	数学	自然を数字で表す	数学・情報	平22	市
公式と図形		数学・情報	平22	市	
物理現象に見る数学		数学・情報	平22	市	
自然現象に見る数学		数学・情報	平22	市	
直線がつくる曲面		数学・情報	平22	市	
情報科学	情報科学とは	数学・情報	平22	市	
	二進法のしくみ	数学・情報	平22	市	
	文字のコード化	数学・情報	平22	市	
		デジタル画像	数学・情報	平22	市
物質・エネルギーの せかい 理工館5階 (32点)	材料大集合	身の回りの材料大図解	物質	平22	市・寄
		重さくらべ	物質	平22	市・寄
		自転車の重さくらべ	物質	平22	市
		金属疲労	物質	平22	市
		熱伝導	物質	平22	市
		電気伝導	物質	平22	市
		弾み方	物質	平22	市
		板ばねの力くらべ	物質	平22	市
		形状記憶合金	物質	平22	市・寄
		液晶	物質	平22	市
		超撥水と超親水	物質	平22	市・寄
		香料	物質	平22	市・寄
		熱や光で色変化	物質	平22	市・寄
		セラミックスのセンサ	物質	平22	市
		半導体	物質	平22	市
	セラミックス	物質	平22	市・寄	
	金属	物質	平22	市・寄	
	有機材料	物質	平22	市	
	原子・分子の世界	微小な世界へ	物質	平22	市
		原子の誕生	物質	平22	市
		元素周期表	物質	平22	市
		炎色反応	物質	平22	寄贈
		蛍光	物質	平22	市
		動き回る分子-ブラウン運動-	物質	平22	市
		さまざまな分子と化学結合	物質	平22	市
		水分子	物質	平22	市
	炭素	物質	平22	市	
エネルギー	エネルギーとは	エネルギー・物理	平22	市	
	世界のエネルギー事情	エネルギー・物理	平22	市	
	わたしたちの主なエネルギー	エネルギー・物理	平22	出品	
	エネルギーで成り立っている わたしたちの暮らし	エネルギー・物理	平22	市	
	エネルギーQ&A	エネルギー・物理	平22	市	
最新科学とのであい 理工館6階 (14点)	地球を知る	新たな世界への挑戦	環境	平22	市
		気候変動を探る	環境	平22	市
		二酸化炭素地中貯留実験	環境	平22	市
	宇宙へ挑む	太陽を観測する～太陽望遠鏡～	天文・宇宙	平22	市
		宇宙へ到達する～H-II Bロケット～	天文・宇宙	平22	市・出

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作年度	備考
最新科学とのであい 理工館6階 (14点)	宇宙へ挑む	宇宙から地球を解き明かす-地球観測衛星のまなざし-	天文・宇宙	平22	市
		宇宙環境を利用する～「きぼう」日本実験棟～	天文・宇宙	平22	市
	地下へ挑む	地圏	環境	平22	市・出
		地下へ到達する-地球深部探査船「ちきゅう」-	環境	平22	市
		地下から地球を解き明かす-ボーリングコア-	環境	平22	市・出
		地下から地球を解き明かす-地震観測網-	環境	平22	市
	話題の科学	地下環境を利用する-ジオプロジェクト-	環境	平22	市
話題の科学1		総合その他	平22	市	
話題の科学2	総合その他	平22	市		
宇宙のすがた 天文館5階 (36点)	天文学のあゆみ	古代人の宇宙	天文・宇宙	平22	市
		天動説から地動説へ	天文・宇宙	平22	市
		江戸時代の天文学	天文・宇宙	平22	出品
		光学望遠鏡のしくみ	天文・宇宙	平22	市
		望遠鏡をのぞいてみよう	天文・宇宙	平22	市
		65cm反射望遠鏡	天文・宇宙	平22	市
		望遠鏡の大きさをくらべ	天文・宇宙	平22	市
		さまざまな波長	天文・宇宙	平22	市
		分光観測とスペクトル	天文・宇宙	平22	市
		電波天文学	天文・宇宙	平22	市
		赤外線天文学	天文・宇宙	平22	出品
		X線天文学	天文・宇宙	平22	出品
		市街光と星空	天文・宇宙	平17	市
		星のまたたき	天文・宇宙	平22	市
	宇宙線をみる	天文・宇宙	平22	市	
	宇宙のひろがり	パワーズオブテン	天文・宇宙	平22	市
		太陽系	天文・宇宙	平22	市
		月の満ち欠け	天文・宇宙	平22	市
		月への挑戦	天文・宇宙	平22	市・出
		惑星の動きと万有引力	天文・宇宙	平22	市
		惑星探査	天文・宇宙	昭45	市
		宇宙を探る	天文・宇宙	平22	市
		宇宙を測る	天文・宇宙	平22	市
		ニュートリノ	天文・宇宙	平22	市
		星座を形づくる星々	天文・宇宙	平22	市
		星の世界	天文・宇宙	平22	市
		銀河の世界	天文・宇宙	平22	市
	銀河系と天の川	天文・宇宙	平22	市	
	宇宙の果て	天文・宇宙	平22	市	
	プラネタリウムの歴史	プラネタリウムの歴史	天文・宇宙	平22	市
		アイジンガー・プラネタリウム	天文・宇宙	平22	市
		ピンホール式プラネタリウム	天文・宇宙	平22	寄贈
		ツアイスIV型プラネタリウム	天文・宇宙	平22	市
		ファイバー式プラネタリウム	天文・宇宙	平22	市
		デジタルタイムカプセル	天文・宇宙	平22	市
	星座早見盤	天文・宇宙	平22	市	
地球のすがた 生命館2階 (15点)	地球環境変化の歴史	地球環境変化の歴史	環境	平10	市
	過去の地球を探る	過去の地球を探る	環境	平8	寄贈
		地層探検ゲーム	環境	平13	寄贈
		マップサウルス	環境	平21	市
	地球のデザイン	生命地球	環境	昭63	市
		水の流れがつくる模様	環境	平10	市
		対流がつくる模様	環境	平10	市
		飛び出す雲のリング	環境	平10	市
		夕焼けをつくろう	環境	平10	市
		虹をつくろう	環境	平10	市
	地震実験装置	環境	平10	市	
	地球のデザイン	地球環境ゲーム	環境	平15	市
地球環境マップ		環境	平10	市	
発見処	発見処	総合その他	平13	市	
	地球工房	総合その他	平16	市	

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作年度	備考	
生活のわざ 生命館3階 (11点)	食のめぐみ	あなたの食事診断	生活	平12	市	
		サイクルでサイクル	生活	平13	市	
	家と都市	家のつくり	生活	平13	市	
		リサイクルガーデン	生活	平13	市	
		都市の地下	生活	平13	市	
		都市の防災	生活	平13	市	
	くらしと地球	世界のくらし	生活	昭63	市	
		くらしとお天気	生活	平11	市	
		環境とくらし	生活	平13	市	
		都市気候観測ステーション	生活	平13	市	
	人体のしくみ 生命館4階 (19点)	巨大人体	骨と筋肉	生命	昭63	市
			呼吸と循環	生命	昭63	市
口腔と歯			生命	昭63	市	
消化と吸収			生命	昭63	市	
排出			生命	昭63	市	
ホメオスタシス			生命	昭63	市	
脳		ジャイアントブレイン	生命	昭63	市	
		脳	生命	平24	寄贈	
からだはかわる		ヒトの脳と動物の脳	生命	平24	市・寄	
		からだの変化	生命	平10	市	
		一生の変化	生命	平10	市	
生命のサイクル		データマン	生命	平10	市	
	受精から出産まで	生命	昭63	市		
感覚器	感覚器	生命	昭63	市		
	熱さ冷たさを知る	生命	昭63	市		
感覚診断	身体チェックラリー	生命	昭63	市		
	方向を聴く	生命	昭63	市		
からだと健康	人体のしくみ(男子像、女子)	生命	昭63	寄贈		
	健康百科	生命	昭63	市		
生命のひみつ 生命館5階 (9点)	生きものラボ	ワンダーゲノム	生命	平23	市	
		生命ラボ	生命	平23	市	
		生きものギャラリー	生命	平23	市	
		遺伝子ミニラボ	生命	平23	市	
	細胞	細胞共和国	生命	平24	市	
		細胞ラボ	生命	平24	市	
	DNA	DNAとはなんだろう	生命	平25	市	
		チャレンジDNA	生命	平25	市	
		ゲノムの迷路	生命	平17	市	

大型展示（4点）

水の広場 理工館2・3階	くものステージ	さかのぼるあめ	総合その他	平22	市・寄
		みずのプリズム			
		くものつぶとあめのつぶ			
	あめのステージ	ころがるすいてき			
		あまつぶのかたち			
	かわのステージ	ながれとうず			
		みずのシーソー			
		いろいろなすいしゃ うずをつくる			
	うみのステージ	アルキメデスのポンプ			
		おうふくポンプ			
		かいてんポンプ			
		かいてんぐるま			
ながれあそび					
みずでっぽう					
ジャンボしゃぼんまく					
りったいしゃぼんまく					
ぶくぶくタンク ポコポコタンク					
竜巻ラボ理工館3・4階	竜巻ラボ	環境	平22	市	
放電ラボ理工館4・5階	放電ラボ	エネルギー・物理	平22	市	
極寒ラボ理工館5階	極寒ラボ	環境	平22	市・寄	

その他

エントランスホール 理工館1階	エントランス展示	LE-7エンジン	天文・宇宙	平6	出品
		建物の環境配慮設備	環境	平22	市
休憩室生命館1階	フーコーの振り子	フーコーの振り子	天文・宇宙	平22	市

屋外

屋外展示 (8点)	屋外展示	B6型蒸気機関車	交通・機械	昭43	寄贈
		市電1400型ボギー車	交通・機械	昭49	寄贈
		H-IIBロケット	天文・宇宙	平23	寄贈
		日本実験棟「きぼう」	天文・宇宙	平23	寄贈
		ニュートンのりんごの木	エネルギー・物理	平22	寄贈
		フランス水車	エネルギー・物理	昭43	出品
		無人探査機 ドルフィン3K	環境	平16	出品
		風力発電装置	エネルギー・物理	平16	寄贈

分類別集計	天文・宇宙	44
	物質	27
	数学・情報	10
	エネルギー・物理	30
	交通・機械	22
	生命	28
	環境	25
	生活	11
	総合その他	38
	合計	235

備考欄集計	市	190	81%
	市・寄	20	9%
	市・出	4	2%
	寄贈	13	6%
	出品	8	3%
	合計	235	100%

建物集計	理2	33	
	理3	20	
	理4	31	
	理5	32	
	理6	14	130
	天5	36	36
	生2	15	
	生3	11	
	生4	19	
	生5	9	54
	大型	4	4
	その他	3	3
	屋外	8	8
	合計		235

3 年度別決算

※職員給与は市役所費用にて一括計上のため除く

年度	経常費歳出			歳入決算 (観覧料)	総入場者 数	摘要	科学館費以外の歳出
	人件費	運営費	計				
昭和 36	—	989	989	—		※	建設費 194,900
37	1,440	13,758	15,198	6,790	111,023	※ 37.11.1 第一期工事(天文館)完成	建設費 245,991
38	720	22,470	23,190	12,537	212,047	※ 38.6.29 第二期工事(理工館)着工	建設費 200,000
39	27,569	38,513	66,082	22,523	325,001	39.10.30 第二期工事(理工館)完成	建設費 407,149
40	33,648	53,904	87,552	27,296	366,296		
41	36,936	58,427	95,363	27,259	375,720		
42	39,914	65,038	104,952	26,564	379,220		
43	45,075	66,429	111,504	30,839	431,740	スカイラインプロジェクタ設置	
44	51,485	73,946	125,431	33,525	453,398	プラネタリウム椅子取替え	
45	58,161	77,139	135,300	32,700	445,817	プラネタリウムドーム内天井塗装	
46	69,792	89,231	159,023	34,455	470,288		
47	74,893	101,326	176,219	33,049	464,848		
48	86,034	98,959	184,993	36,261	497,966		
49	106,543	111,006	217,549	36,988	510,016		
50	148,972	164,077	313,049	40,768	553,795	S C R 調光器取替	
51	161,180	387,779	548,959	52,046	495,551		空調熱源取替 214,000
52	160,845	196,793	357,638	51,705	501,747		
53	182,537	212,063	394,600	53,053	519,689		
54	190,001	216,492	406,493	53,066	515,791		
55	198,134	223,249	421,383	55,110	593,571		
56	203,376	254,889	458,265	51,071	477,384		エレベータ取替 49,000
57	217,504	274,420	491,924	50,913	476,272		エレベータ取替 49,500
58	223,636	289,283	512,919	43,480	418,701		プラネタリウム室改修 103,000
59	229,019	288,658	517,677	69,432	452,249		天文館改修 220,000 生命館基本設計 7,000 望遠鏡設置 75,000
60	242,433	280,497	522,930	76,532	499,750		生命館実施設計 70,000
61	264,216	288,563	552,779	71,012	421,309		生命館建設(初年度分) 895,950
62	277,742	292,205	569,947	78,464	571,611		生命館建設(第2年度分) 552,200 科学館の改修(初年度分) 249,600
63	291,979	315,957	607,936	65,317	440,089		生命館建設(最終年度分) 2,415,770 科学館の改修(最終年度分) 998,400 プラネタリウムの施設整備 87,796 発券改札業務の機械化 93,090

(次ページへ続く)

年度	経常費歳出			歳入決算 (観覧料)	総入場者数	摘要	科学館費以外の歳出
	人件費	運営費	計				
平成 元	千円	千円	千円	千円	人	千円	千円
	311,870	611,743	923,613	113,723	636,758	生命館開館式典費 4,720	
2	324,977	593,417	918,394	130,943	738,855		
3	354,803	728,085	1,082,888	117,673	726,889	プラネタリウムオーバーホール 22,000 ハイビジョン 映像情報コーナー設置 97,000	
4	365,527	572,743	938,270	116,924	709,590	開館30周年記念式典	
5	373,281	609,427	982,708	107,887	676,276		
6	381,162	623,955	1,005,117	88,693	684,841		理工館冷温水発生機等整備 107,000 電源設備等復旧 328,600
7	386,952	703,174	1,090,126	106,252	733,520	プラネタリウム 新演出システム導入 64,200 福祉環境整備 42,800	天文館用熱源機器取替等整備 107,000
8	381,840	525,817	907,657	84,657	680,538	自動改札システム更新 14,097	天文館空調機取替等整備 42,800 天文館・理工館耐震診断 4,422
9	382,080	562,686	944,766	77,840	610,342	プラネタリウム 調光装置改修 17,640	理工館空調機器取替等整備 109,000
10	388,960	633,179	1,022,139	84,990	711,416	館内情報システム 電気配線工事 8,400	
11	395,080	587,541	982,621	77,413	724,128	ガス管及び水道管布設替 9,000 プラネタリウムオーバーホール 20,000	
12	388,557	548,277	936,834	63,741	544,530	スカイラインプロジェクター システム更新 5,600	
13	349,200	638,055	987,255	65,908	550,524	プラネタリウムスクリーン塗装 15,225	
14	334,800	545,151	879,951	72,087	675,170	プラネタリウム 補聴システム導入 1,597 理工館展示品更新 4,000	
15	323,000	535,052	858,052	69,271	624,325	プラネタリウム音響装置改修 4,000 出前ミュージアム 3,137	
16	297,000	487,413	784,413	62,344	615,425	プラネタリウム電源部改修 10,626 理工館・天文館改築基本構想 4,935	
17	300,832	456,635	757,467	67,213	486,104	愛・地球博記念 ロボットサッカー国際交流 10,000 科学演芸(笹島サテライト) 3,000 理工館・天文館改築基本構想 1,785	
18	321,742	476,335	798,077	68,295	614,577	プラネタリウム映像機器改修 4,798 理工館・天文館改築基本計画 40,971	
19	341,532	391,496	733,028	64,210	618,956		理工館・天文館改築 315,589

(次ページへ続く)

年度	経常費歳出			歳入決算 (観覧料)	総入場者数	摘要	科学館費以外の歳出
	人件費	運営費	計				
平成 20	千円 335,160	千円 387,104	千円 772,264	千円 66,687	人 607,864	千円	千円 理工館・天文館改築 288,640
21	326,700	380,855	707,555	73,403	606,157		理工館・天文館改築 2,421,157
22	319,464	354,918	674,382	57,573	481,957		理工館・天文館改築 12,197,788
23	274,691	601,132	875,823	333,907	1,531,854		屋外展示・外構改築 794,389
24	281,632	618,490	900,122	306,626	1,303,372		
25	289,949	617,573	907,522	277,651	1,436,926		

(注) 昭和56年度以降の人件費については、生涯学習推進費(平成9年度までは社会教育総務費)にて一括計上のため按分により算出。

4 展示協力

協力者	展示品名	区分	展示場所
特殊法人宇宙開発事業団	H-II ロケットメインエンジン (LE-7)	展示品出品	理工館 1 階
立命館大学文学部心理学専攻教授 北岡明佳	さっかく	作品提供	理工館 2 階
明治大学研究・知財戦略機構特任教授 杉原厚吉	さっかく	作品提供	理工館 2 階
住友特殊金属株式会社	NKS じしゃく	展示品寄贈	理工館 2 階
名古屋市消防局	GoGo! しょうぼうしゃ	展示品出品	理工館 2 階
竹田印刷株式会社	ころがるすいてき (超はっ水シート)	物品寄贈	理工館 2 階
名古屋大学大学院工学研究科・マテリアル理工学専攻教授 高井治	ころがるすいてき	製作協力	理工館 2 階
名古屋鉄道株式会社	モノづくり都市パノラマ (模型車両)	物品寄贈	理工館 3 階
日本車輛製造株式会社	電車	画像協力	理工館 3 階
名古屋市交通局	電車	画像協力	理工館 3 階
高木 常雄	蒸気機関車 C53 模型	物品寄贈	理工館 3 階
	蒸気機関車 C64 模型	物品寄贈	理工館 3 階
株式会社竹中工務店	クレーン	製作協力	理工館 3 階
株式会社新来島豊橋造船	大型船	画像協力	理工館 3 階
ナカシマプロペラ株式会社	大型船	画像協力	理工館 3 階
三菱航空機株式会社	飛行機	画像協力	理工館 3 階
中日本航空専門学校	飛行機	製作協力	理工館 3 階
株式会社デンソー	ロボット (産業ロボット体験装置)	装置部寄贈	理工館 3 階
	ものづくり都市パノラマ	画像協力	理工館 3 階
名古屋市立工業高等学校	けずる、溶接、鋳物・射出成形	製作協力	理工館 3 階
一般社団法人日本アルミニウム協会	プレス (アルミニウム標本)	物品寄贈	理工館 3 階
長島鋳物株式会社	鋳物・射出成形 (名古屋市型マンホールふた)	物品寄贈	理工館 3 階
ブラザー工業株式会社	ミシン (ミシンのしくみ体験装置)	装置部寄贈	理工館 3 階
	ミシン (スケルトンミシン)	装置部寄贈	理工館 3 階
	くらしの中の電子機器 (複合機・モバイルプリンター)	物品寄贈	理工館 3 階
富士電機リテイルシステムズ株式会社	自動販売機 (自動販売機)	装置部寄贈	理工館 3 階
日立アプライアンス株式会社	掃除機 (掃除機)	装置部寄贈	理工館 3 階
	掃除機 (掃除機カットモデル)	物品寄贈	理工館 3 階
リコーエレメックス株式会社	時計 (時計分解図パネル・時計部品)	物品寄贈	理工館 3 階
なるせ時計	時計	画像協力	理工館 3 階
株式会社日立製作所 中部支社	くらしの中の電子機器 (薄型テレビ)	物品寄贈	理工館 3 階
パナソニック 電工株式会社	くらしの中の電子機器 (蛍光灯電球)	物品寄贈	理工館 3 階
象印マホービン株式会社	くらしの中の電子機器 (圧力IH炊飯ジャー)	装置部寄贈	理工館 3 階
平川明良	竜巻ラボ	音楽協力	理工館 3 階
株式会社デンソー	電磁波 (ミリ波レーダー)	物品寄贈	理工館 4 階
東京都立高等学校教諭 田原輝夫	音のフレネルレンズ	製作協力	理工館 4 階
独立行政法人産業技術総合研究所計量標準センター	自然を数字で表す	画像協力	理工館 4 階
独立行政法人情報通信研究所	自然を数字で表す	画像協力	理工館 4 階
パナソニック 電工株式会社	身の回りの材料大図解 (ノートパソコン筐体始め7点)	物品寄贈	理工館 5 階
大同特殊鋼株式会社	重さくらべ (金属)	装置部寄贈	理工館 5 階
	形状記憶合金 (形状記憶合金)	装置部寄贈	理工館 5 階
	金属 (金属標本)	物品寄贈	理工館 5 階
株式会社 I N A X	超はっ水と超親水 (超親水タイル)	物品寄贈	理工館 5 階
竹田印刷株式会社	超はっ水と超親水 (超はっ水シート)	物品寄贈	理工館 5 階
名古屋大学大学院工学研究科・マテリアル理工学専攻教授 高井治	超はっ水と超親水	製作協力	理工館 5 階
高砂香料工業株式会社	香料 (香料)	装置素材寄贈	理工館 5 階
	炭素	装置素材寄贈	理工館 5 階
パイロットインキ株式会社	熱や光で色変化 (サーモクロミズムシート)	装置部寄贈	理工館 5 階
信越化学工業株式会社	半導体	物品寄贈	理工館 5 階

協 力 者	展 示 品 名	区 分	展示場所
日本特殊陶業株式会社	セラミックス (ファインセラミックス標本)	物品寄贈	理工館5階
新日本製鐵株式会社 名古屋製鉄所	金属 (金属標本)	物品寄贈	理工館5階
愛知県鍍金工業組合	金属 (めっき標本)	物品寄贈	理工館5階
一般社団法人日本アルミニウム協会	金属 (アルミニウム標本)	物品寄贈	理工館5階
東邦ガス株式会社	炎色反応	展示品寄贈	理工館5階
中部電力株式会社	わたしたちの主なエネルギー源	装置部出品	理工館5階
石油連盟	エネルギーで成り立っているわたしたちの暮らし	資料寄贈	理工館5階
ミサワホーム株式会社	極寒ラボ (南極の建築部材)	物品寄贈	理工館5階
国立極地研究所	極寒ラボ (防寒具)	物品寄贈	理工館5階
	極寒ラボ (氷)	素材協力	理工館5階
知床斜里町観光協会	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
立山カルデラ博物館	極寒ラボ (氷)	素材協力	理工館5階
旭川市科学館	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
北海道オホーツク流氷科学センター	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
関西電力株式会社	極寒ラボ (氷)	素材協力	理工館5階
名古屋大学雪氷圏研究グループ	極寒ラボ	画像協力	理工館5階
株式会社テレビ朝日	極寒ラボ	画像協力	理工館5階
西堀栄三郎記念探検の殿堂	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
名古屋海洋博物館	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	宇宙へ到達する (H-II Bロケット試験機の衛星フェアリングの一部)	物品寄贈	理工館6階
	宇宙へ到達する (M-V ノーズフェアリングカットモデル)	物品出品	理工館6階
	宇宙環境を利用する (SFUサーマル・ブランケット)	物品出品	理工館6階
	宇宙へ到達する	画像協力	理工館6階
	宇宙から地球を解き明かす	画像協力	理工館6階
三菱重工業株式会社	宇宙環境を利用する	画像協力	理工館6階
川崎重工業株式会社	宇宙へ到達する	画像協力	理工館6階
京都大学大学院工学研究科准教授 山田泰広	宇宙環境を利用する	画像協力	理工館6階
独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構	二酸化炭素地中貯留実験	製作協力	理工館6階
東北大学理学部地球科学系教授 掛川武	地圏-ジオスフェア	画像協力	理工館6階
	地下環境を利用する	資料寄贈	理工館6階
国立科学博物館	地圏-ジオスフェア	資料寄贈	理工館6階
独立行政法人海洋研究開発機構	地圏-マントルと核	画像協力	理工館6階
	地下へ到達する	画像協力	理工館6階
独立行政法人産業技術総合研究所地質調査総合センター	地下から地球を解き明かす (ボーリングコア)	資料出品	理工館6階
独立行政法人日本原子力研究開発機構	地下から地球を解き明かす (ボーリングコア)	資料寄贈	理工館6階
	地下から地球を解き明かす (ボーリングコア)	資料寄贈	理工館6階
神奈川県温泉地学研究所	地下環境を利用する	画像協力	理工館6階
	地下から地球を解き明かす (ボーリングコア)	資料寄贈	理工館6階
DOWAホールディングス株式会社	地下から地球を解き明かす (ボーリングコア)	資料寄贈	理工館6階
住友金属鉱山株式会社	地下から地球を解き明かす (ボーリングコア)	資料寄贈	理工館6階
名古屋市見晴台考古資料館	地下から地球を解き明かす (ボーリングコア)	資料寄贈	理工館6階
国際日本文化研究センター安田研究室	地下から地球を解き明かす (ボーリングコア)	資料寄贈	理工館6階
山田亮一	地下から地球を解き明かす	製作協力	理工館6階
徳島大学 押村美幸	気候変動を探る	画像協力	理工館6階
国立極地研究所	気候変動を探る	画像協力	理工館6階

協 力 者	展 示 品 名	区 分	展示場所
独立行政法人防災科学技術研究所	地下から地球を解き明かす（地震観測網）	データ協力	理工館 6 階
九州電力株式会社	地下環境を利用する	画像協力	理工館 6 階
名古屋大学博物館教授 吉田英一	地下環境を利用する	データ協力	理工館 6 階
一般財団法人日本宝くじ協会	80cm反射望遠鏡	寄贈	理工館 7 階
山田達夫	江戸時代の天文学	資料寄贈	天文館 5 階
国立天文台 岡山観測所	分光観測とスペクトル（分光器）	資料出品	天文館 5 階
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	赤外線天文学（「あかり（ASTRO-F）」冷却系プロトモデル）	物品出品	天文館 5 階
名古屋大学大学院理学研究科宇宙物理学研究室	X線天文学（X線望遠鏡（あすか衛星搭載用スペア）・X線望遠鏡1/4鏡（BBXRT試験モデル））	物品出品	天文館 5 階
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	H-II ロケット（模型）	展示品出品	天文館 5 階
国立天文台 かぐやプロジェクト	月への挑戦	データ協力	天文館 5 階
国立天文台 4D2Uプロジェクト	銀河の世界	データ協力	天文館 5 階
アイジンジャー・プラネタリウム	アイジンジャー・プラネタリウム	画像協力	天文館 5 階
金子芳江	ピンホール式プラネタリウム（金子式プラネタリウム始め8点）	物品寄贈	天文館 5 階
名古屋大学情報文化学部	デジタルタイムカプセル	製作協力	天文館 5 階
東京工業大学 丸山茂徳	地球環境変化の歴史	資料寄贈	生命館 2 階
財団法人東海財団	過去の地球を探る	展示品寄贈	生命館 2 階
つけち創工社	過去の地球を探る	製作協力	生命館 2 階
名古屋大学年代測定資料センター	過去の地球を探る	資料寄贈	生命館 2 階
国立極地研究所	過去の地球を探る	資料寄贈	生命館 2 階
信州大学理学部 原山智	過去の地球を探る	資料寄贈	生命館 2 階
日本ガイシ株式会社	過冷却水製造装置	物品寄贈	実演用
	水流を曲げる実験装置	物品寄贈	実演用
	雲をつくる装置	物品寄贈	実演用
株式会社アドホック	地層探検ゲーム	展示品寄贈	生命館 2 階
公益財団法人中部科学技術センター	あなたの食事診断	展示品出品	生命館 3 階
一般財団法人日本宝くじ協会	家のつくり	展示品寄贈	生命館 3 階
	リサイクルガーデン	展示品寄贈	生命館 3 階
	環境とくらし	展示品寄贈	生命館 3 階
	都市の地下	展示品寄贈	生命館 3 階
公益財団法人中部科学技術センター	からだはかわる	展示品出品	生命館 4 階
株式会社東海銀行・株式会社スズケン	人体のしくみ（男子像・女子像）	展示品寄贈	生命館 4 階
日本科学未来館	脳	展示品寄贈	生命館 4 階
	ヒトの脳と動物の脳（脊椎動物の脳）	展示品寄贈	生命館 4 階
公益財団法人中部科学技術センター	ゲノムの迷路	展示品出品	生命館 5 階
石原産業株式会社	B 6 型蒸気機関車	展示品寄贈	屋 外
名古屋市交通局	市電1400型ボギー車	展示品寄贈	屋 外
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	H-IIロケット第1段エンジン部	物品寄贈	屋 外
	H-IIロケット第1段LH2タンク	物品寄贈	屋 外
	H-IIロケット第1段中央部	物品寄贈	屋 外
	H-IIロケット段間部アダプタ	物品寄贈	屋 外
	H-IIロケット強度試験用供試体	物品寄贈	屋 外
三菱重工業／独立行政法人宇宙航空研究開発機構	日本実験棟「きぼう」	物品寄贈	屋 外
東京大学大学院理学系研究科附属植物園（小石川植物園）	ニュートンのりんごの木	展示品寄贈	屋 外
独立行政法人海洋研究開発機構	無人探査機ドルフィン3K	展示品出品	屋 外
名古屋城北ライオンズクラブ	風力発電装置	展示品寄贈	屋 外
公益財団法人中部科学技術センター	フランスス水車	展示品出品	屋 外

5 特別展及び企画展

展覧会名	開催期間	入場者数(人)
時計の今昔展 ～昔の時計、今の時計～	昭38. 6. 1～6. 16	8,000
電車の科学展 ～電車の知識～	10. 10～11. 10	8,000
たのしい科学玩具展 ～いろいろな科学玩具の展示～	39. 2. 1～2. 26	10,000
新しい時計展 ～近代の時計展示～	39. 6. 2～6. 14	————
のびゆく時計展 ～内外の新しい時計～	40. 6. 1～6. 13	12,000
交通の科学展 ～戦後20年のあゆみと近代化～	10. 27～11. 7	20,000
豊田佐吉生誕100年記念展 ～豊田佐吉に関する資料～	41. 4. 10～4. 24	50,000
鉄の本多光太郎展 ～本多光太郎に関する各種資料の展示～	42. 4. 18～5. 7	17,021
カメラの今昔展 ～懐かしいカメラ、新しいカメラの展示～	6. 4～6. 18	12,826
交通の科学展 ～交通の近代化へのあゆみ～	10. 29～11. 12	25,098
電力王福沢桃介生誕100年展 ～福沢桃介に関する資料～	43. 6. 22～7. 7	14,980
蒸気機関車展 ～蒸気機関車に関する各種資料を展示～	10. 2～11. 10	45,943
宇宙科学と望遠鏡展	44. 11. 1～11. 16	30,780
あかりの科学展	45. 11. 1～11. 15	20,517
日本の地震展	46. 7. 22～8. 1	————
月の石と宇宙科学展	47. 1. 9～1. 23	49,876
花火の科学展	47. 9. 15～10. 1	————
世界の鉄道展 ～未来の交通～	10. 29～11. 12	36,000
のびゆく国際通信展	48. 4. 24～5. 6	————
コペルニクス展 ～生誕500年～	49. 1. 4～1. 20	————
写真の科学展 ～写真のあゆみ～	49. 10. 27～11. 10	18,994
からくりの科学展 ～からくり人形、文献及び実演～	50. 5. 17～6. 1	11,112
ステレオの科学展 ～蓄音機のあゆみ～	11. 1～11. 16	20,247
写真で見る懐かしの名古屋展	51. 11. 3～11. 14	2,546
地図の科学展	52. 3. 19～4. 3	7,000
日本の科学技術の源流を探る	52. 10. 29～11. 13	7,263
記録で見る巨大地震	53. 1. 7～1. 22	5,222
日本化学会創立100周年記念展 ～日本の化学100年のあゆみ～	53. 10. 17～10. 29	5,000
消防展 ～江戸から近代消防まで～	54. 2. 17～3. 4	12,341
夢ののりもの科学展	54. 7. 21～8. 5	33,218
電気100年展 ～エジソン電球からLSIまで～	10. 27～11. 1	15,588
科学者レオナルド・ダビンチ展	55. 7. 26～8. 10	21,000
北京原人展 ～日本人のルーツをさぐる～	10. 18～11. 30	100,088
時計展 ～江戸から昭和初期まで～	57. 3. 6～3. 21	13,835
エネルギーの科学展	57. 7. 24～8. 15	45,102
新コミュニケーション展	58. 10. 14～11. 6	19,520
はかる ～長さ・重さ・時間～	59. 3. 17～3. 29	9,409
サイエンス・アート	59. 7. 25～8. 5	15,013
科学のひろば ～みよう、ためそう、ふれよう～	60. 8. 1～8. 11	15,767
恐竜イグアノドン展	10. 8～11. 24	57,594
鉄道の科学	61. 7. 26～8. 10	25,000
NHK地球大紀行展	62. 4. 25～5. 24	100,758
ザ・カメラ展	8. 6～8. 16	15,767
オルゴールの科学	63. 7. 28～8. 7	15,799

展 覧 会 名	開 催 期 間	入場者数(人)
人類誕生 400 万年展	平元. 1. 29～ 6. 18	106, 795
第 1 回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'89	7. 7～ 7. 23	5, 777
特別展 世界最新のホログラフィ	7. 29～ 9. 10	30, 260
特別展 スミソニアン ～アメリカの大発明展～	11. 3～12. 3	7, 230
特別展 発明王エジソン展	2. 4. 21～ 6. 17	78, 775
特別展 恐竜時代 ～日本と中国～	7. 21～ 8. 31	104, 335
企画展 ミクロの世界 ～細胞生物学へのとびら～	10. 20～11. 11	46, 929
企画展 世界を変えた科学書 ～科学・工学のルネサンス～	3. 4. 27～ 5. 12	33, 805
特別展 ロボットワールド ～夢と遊びを科学する～	7. 20～ 9. 1	106, 013
第 2 回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'91	10. 10～11. 10	54, 691
特別展 生命の大進化展	4. 3. 20～ 5. 10	69, 039
特別展 ザ・化学展'92	4. 7. 18～ 8. 30	72, 459
企画展 ふれあい地球ひろば	11. 1～11. 12	32, 409
第 3 回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'93	5. 4. 23～ 6. 6	50, 534
特別展 のりもの大集合展	7. 17～ 8. 31	88, 482
企画展 ガラスの科学展(電気室事故により途中打ち切り)	6. 3. 19～ 3. 24	8, 770
企画展 '93 名古屋タンポポ調査隊報告展	6. 7. 1～ 7. 17	28, 441
特別展 ふしぎ体感!! マジカル・サイエンス	7. 21～ 8. 31	101, 323
特別展 世界のモーターサイクル歴史展	9. 10～10. 16	30, 301
特別展 知られざるサメの世界展	11. 23～ 7. 1. 8	36, 251
企画展 エネルギー体験館 ～みよう・ふれよう電気の世界～	7. 1. 14～ 1. 29	29, 289
企画展 遺伝子のひ・み・つ	3. 18～ 4. 2	31, 118
第 4 回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'95	7. 4. 28～ 6. 25	41, 855
特別展 パリ発! 科学と遊ぶ夢空間「ラ・ビレット展」	7. 22～ 8. 31	48, 637
特別企画 クリスタルワールド		
① 特別展 スミソニアン博物館「大宝石・鉱物展」	9. 9～10. 29	74, 789
② 企画展 「結晶の科学展」		
特別展 シルクロード大恐竜展	8. 3. 23～ 5. 26	94, 384
特別展 ニュートンのおもしろサイエンス	8. 7. 20～ 9. 1	52, 472
特別展 大生命展	10. 10～11. 17	21, 499
特別行事 '96 青少年のための科学の祭典	11. 23～11. 24	11, 533
企画展 人間のあしのふしぎ	9. 3. 16～ 3. 30	25, 142
第 5 回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'97	9. 6. 6～ 7. 6	29, 690
特別展 クジラ・イルカ大研究	7. 19～ 8. 31	51, 138
企画展 空気と遊ぼう	9. 13～ 9. 28	27, 914
超空間展'97	10. 7～10. 26	31, 326
企画展 鉄道模型 50 年のあゆみ	11. 22～11. 24	10, 480
緊急企画 ポカポカ地球は大変! 君ならどうする? ～地球温暖化を科学しよう～	10. 2. 10～ 3. 1	22, 114
特別展 うごく・かなでる楽器たち ～オーケストラからオルゴールまで～	3. 21～ 5. 10	33, 107
ミニ企画展 科学と遊ぶ木のおもちゃ展	10. 4. 1～ 6. 30	147, 197
特別展 メディアトンネル探検隊～象形文字からインターネットへ～	7. 18～ 8. 30	47, 600
特別展 大恐竜展 ～失われた大陸ゴンドワナの支配者～	10. 31～11. 1. 17	99, 484
企画展 '98 名古屋タンポポ調査隊報告展	12. 19～11. 1. 17	78, 466
特別展 鳥のルーツを探る ～恐竜は絶滅しなかった! ?～	11. 3. 20～ 5. 16	45, 218
特別展 発見!! 石の王国 ～今明かされる地球の秘密～	11. 7. 17～ 8. 31	62, 574
企画展 かがく遊び ～家でできる化学の実験～	9. 15～ 9. 26	17, 503
特別展 中部地質情報展 ～20 億年のタイムトラベル～	9. 15～10. 11	45, 529
特別展 カオを学ぶ カオで遊ぶ ～大「顔」展～	10. 30～12. 1. 30	96, 867
特別展 宇宙展 2000 ～さあ始めよう時空の旅～	12. 3. 18～ 5. 14	64, 504

展 覧 会 名	開 催 期 間	入場者数(人)
特別展 匠(たくみ)のサイエンス	平 12. 7. 15～ 8. 31	39, 140
緊急企画展 これが東海豪雨だ	10. 13～12. 28	88, 994
企画展 君も気象予報士	13. 3. 17～ 3. 31	18, 669
ゴールドデンウィーク企画展 「鉄道模型であそぼう」	13. 4. 29～ 5. 6	36, 505
特別展 からだ・ふしぎ発見	7. 20～ 9. 2	59, 387
企画展 素材とかたちの科学=建築とE. トロハ展 ～過去・現在・未来～	10. 11～10. 30	3, 517
企画展 野依良治 ノーベル化学賞への道	14. 1. 25～ 3. 3	38, 263
企画展 光とあそぼう	3. 16～ 3. 31	23, 509
特別展 目でみる『がん』展	14. 4. 13～ 6. 30	32, 395
開館 40 周年記念特別展 ロボットワールド	7. 20～ 9. 1	118, 878
企画展 鉄道模型であそぼう	11. 3～11. 4	6, 297
特別展 水俣・名古屋展	11. 16～15. 1. 13	8, 064
企画展 小柴・田中 ノーベル賞展	15. 1. 25～ 3. 2	53, 109
企画展 地球のデザイン	3. 15～ 3. 30	21, 638
特別展 手で考える!? 木組みからくり展	15. 7. 19～ 8. 31	88, 334
特別展 アート オブ スター・ウォーズ展	10. 18～12. 7	40, 272
古川為三郎サイエンス企画展 水とあそぼう	16. 3. 20～ 4. 4	26, 916
特別展 むし虫ワールド	16. 7. 18～ 8. 31	140, 661
古川為三郎サイエンス企画展 光る生きものたち ～輝く魅力と探求の浪漫	17. 3. 19～ 4. 3	19, 804
特別展 庶民の算術展	17. 4. 29～ 6. 26	3, 969
特別展 Go! Go! ゴールド	7. 16～ 8. 31	46, 018
なるほど・THE・エネルギー 科学市場	11. 3～11. 16	17, 710
古川為三郎サイエンス企画展 よみがえるレオナルド・ ダ・ヴィンチ「手稿」アイデアからの再現	18. 3. 18～ 4. 2	28, 916
特別展 のりものワールド	18. 7. 22～ 9. 3	85, 214
特別展 脳!～内なる不思議の世界へ	10. 7～12. 3	25, 170
古川為三郎サイエンス企画展 みんなで考える地球温暖化	19. 3. 17～ 4. 8	56, 219
特別展 ようこそ恐竜ラボへ～研究現場はこんなにおもしろい	3. 17～ 5. 27	57, 696
特別展 ザリガニワールド	19. 7. 21～ 9. 2	74, 334
企画展 地図記号わくわく大図鑑	9. 22～ 9. 30	14, 983
古川為三郎サイエンス企画展 よくわかる地球のこと	10. 13～10. 28	20, 110
企画展 名古屋城を科学する～ヒメボタルの巻	11. 3～20. 1. 14	70, 849
特別展 世界最大の翼竜展	20. 3. 20～ 6. 15	92, 024
特別展 発明ワールド～エジソンと日本の発明～	20. 7. 19～ 8. 31	48, 340
企画展 小林・益川・下村ノーベル賞展	21. 1. 31～ 3. 15	56, 537
古川為三郎サイエンス企画展 建築家になってみよう	3. 20～ 4. 5	27, 689
企画展 名古屋城を科学する パート2 ～本丸御殿復元の意義	3. 20～ 4. 5	27, 689
特別展 お菓子の秘密	21. 7. 18～ 8. 31	90, 521
古川為三郎サイエンス企画展 ガリレオの天体観測から 400 年 宇宙の謎を解き明かす	10. 17～11. 29	46, 225
プレ COP10 企画展 肉食恐竜マブサウルス～生命の絶滅と多様化	12. 5～ 3. 14	104, 826
企画展 電気をつくろう	12. 16～ 4. 11	148, 538
企画展 名古屋城を科学する パート3 ～石垣のナゾをときあかす	22. 3. 20～ 4. 4	32, 993

展 覧 会 名	開 催 期 間	入場者数(人)
天文館・理工館さよならフェスティバル 「行こうよ、もう一度！思い出の科学館」	平 22. 7. 3～ 8. 31	—————
特別展 ふしぎ！昆虫パワー	7. 17～ 8. 31	87, 589
COP10 開催記念企画展 「生物多様性～あいちのニホンカモシカ」	22. 10. 11～10. 31	24, 277
緊急企画展 小惑星探査機「はやぶさー帰還カプセル」	10. 14～10. 18	17, 752
開館記念 古川為三郎サイエンス企画展 「最新の映像技術 深海の不思議」	23. 3. 19～ 5. 5	13, 815
特別企画「お化け屋敷で科学する！」	23. 4. 23～ 6. 26	72, 886
新館開館記念特別展 「黄河大恐竜展～中国・甘肅省大恐竜群の新発見～」	7. 16～ 8. 31	157, 822
新館開館1周年記念特別展 「OCEAN！海はモンスターでいっぱい」	24. 3. 17～ 6. 10	105, 732
特別展「空飛ぶのりもの」	24. 7. 21～ 9. 2	58, 323
企画展「見つめてふしぎ！人間の眼」	11. 17～12. 2	6, 266
特別展「ドラえものの科学みらい展」	25. 3. 16～ 5. 6	123, 179
特別展「深海たんけん！」	25. 7. 20～ 9. 1	136, 660
企画展「世界を変えた書物」展	9. 13～ 9. 29	13, 770
企画展「色いろカラフルワールド」	11. 16～12. 1	11, 283
特別展「チョコレート展」	12. 17～26. 2. 23	108, 414
特別展「発掘！モンゴル大恐竜展」	26. 3. 19～6. 8	121, 976

6 観覧料の変遷

(1) 昭和37年11月1日 天文館開館

[全館]	大人	100円
	中人(高等学校及び中学校生徒)	70円
	小人(小学校児童及び幼児)	50円

(2) 昭和39年11月1日 理工館開館

[全館]	大人	150円
	中人(高等学校及び中学校生徒)	100円
	小人(小学校児童及び幼児)	70円

[天文館]	大人	100円
	中人(高等学校及び中学校生徒)	70円
	小人(小学校児童及び幼児)	50円

[理工館]	大人	70円
	中人(高等学校及び中学校生徒)	50円
	小人(小学校児童及び幼児)	30円

(3) 昭和51年4月1日 観覧料改定

[全館]	大人	200円
	小人(中学校生徒・小学校児童及び幼児)	100円

[展示室のみ]	大人	100円
	小人(中学校生徒・小学校児童及び幼児)	50円

(4) 昭和59年4月1日 観覧料改定

[全館]	大人	300円
	小人(中学校生徒・小学校児童及び幼児)	150円

※展示室のみは据置き

(5) 平成元年4月29日 生命館開館

[全館]	大人	500円
	小人(中学校生徒及び小学校児童)	200円

※小学校就学の始期に達するまでの者は無料

[展示室のみ]	大人	250円
	小人(中学校生徒・小学校児童)	100円

※小学校就学の始期に達するまでの者は無料

(6) 平成6年4月1日 観覧料改定

[全館]	大人	600円
	小人(中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	100円

※小学校就学の始期に達するまでの者は無料

[展示室のみ]	大人	300円
	小人(中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	無料

※小学校就学の始期に達するまでの者は無料

(7) 平成18年4月1日 観覧料改定

[全館]	大人	600円
	高大生(大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者)	400円
	小人(小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	無料

[展示室のみ]	大人	300円
	高大生(大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者)	200円
	小人(小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	無料

(8) 平成23年3月19日 観覧料改定

[全館]	大人	800円
	高大生 (大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者)	500円
	小人 (小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	無料
[展示室のみ]	大人	400円
	高大生 (大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者)	200円
	小人 (小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	無料

利 用 案 内

開館時間	午前9時30分から午後5時00分まで(入館は、午後4時30分まで)							
休館日	(1) 月曜日(祝日の場合は、直後の休日でない日)							
	(2) 毎月第3金曜日(祝日の場合は、第4金曜日)							
	(3) 年末年始(12月29日から1月3日まで)							
観覧料	区 分	当 日			定期観覧券(1年間有効)			
		展示室とプラネタリウム	展示室のみ	展示室とプラネタリウム	展示室のみ			
	大 人	800円	400円	3,200円	1,600円			
	高 大 生	500円	200円	2,000円	800円			
	小人(中学生以下)	無 料						
※団体は、30人以上は1割引、100人以上は2割引								
プラネタリウム 開演時間	投影開始時間 (投影時間約50分)	9:50	11:10	12:30	13:50	15:10	16:30	
	平 日	*学習投影 一般投影	*学習投影 一般投影	*学習投影 一般投影	一般投影	一般投影	一般投影	
	春・夏・冬休み以外の 土 曜	一般投影	一般投影	ファミリー アワー	一般投影	一般投影	一般投影	
	日曜・祝日 春・夏・冬休み 4/1～4/6・7/20～8/31 12/24～1/6・3/25～ 3/31	一般投影	一般投影	ファミリー アワー	一般投影	ファミリー アワー	一般投影	
*平日9:50、11:10、12:30の回につきましては、時間により投影内容が変更となります。						定員 345人		
実演実験 演出時間	実演 会場	名 称	平 日			土曜・日曜・祝日及び8/11～8/15		
	理 工 館	5階	極寒ラボ	10:00 10:30 11:00 11:30 13:30 14:00 14:30 15:00 15:30 16:00 16:30	10:00 10:30 11:00 11:30 13:00 13:30 14:00 14:30 15:00 15:30 16:00 16:30			
		4階	放電ラボ	10:00 11:00 13:00 14:30 16:00	10:00 11:00 12:00 13:30 14:30 15:30 16:30			
	3階	竜巻ラボ	10:30 12:30 15:00	10:30 11:30 14:30 15:30				
		都市パノラマ	11:30 13:30 15:30	11:00 12:00 14:00 15:00				
	天文 館	4階	サイエンス ステージ	11:00 12:00 14:00	11:00 13:00 14:00 15:00 16:00			
生命 館	5階	生命ラボ	14:00	11:00 15:00				

(設置)

第 1 条 博物館法(昭和 26 年法律第 285 号。以下「法」という。)第 18 条の規定に基づき、近代科学に関する知識の普及啓発を目的として、次のように科学館を設置する。

名称 名古屋市科学館

位置 名古屋市中区栄二丁目 17 番 1 号

(事業)

第 2 条 名古屋市科学館(以下「科学館」という。)は、その目的達成のために次の事業を行う。

- (1) 科学に関する資料及び装置の展示
- (2) プラネタリウムによる天体運行等の映写及び天文観測の指導
- (3) 科学に関する図書の備付け並びに研究会、講習会、映画会等の開催
- (4) 科学技術に関する調査研究及び科学資料等の刊行
- (5) 科学知識の普及啓発に必要な他機関との協力
- (6) その他教育委員会(以下「委員会」という。)が必要と認める事業

(観覧料)

第 3 条 科学館に入館しようとする者は、別表に定める額の観覧料を納付しなければならない。

第 4 条 削除

(観覧料の減免)

第 5 条 委員会は、次の各号に掲げる者について、それぞれ当該各号に定める額を、別表に規定する個人の観覧料の額から減免する。ただし、第 1 号に定める額を減免した後の観覧料の額が 100 円未満となる場合の観覧料の額は、100 円とする。

- (1) 市内に住所を有する 65 歳以上の者 当該観覧料の 3 分の 2 の額(100 円未満の端数は、切り上げる。)
- (2) 身体障害者福祉法(昭和 24 年法律第 283 号)第 15 条に規定する身体障害者手帳の交付を受けている者その他の教育委員会規則で定める者 当該観覧料の全額

2 前項に定めるもののほか、委員会は、特別の事由があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

(観覧料等の不還付)

第 6 条 既納の観覧料及び料金は、還付しない。ただし、委員会が特別の理由があると認めたときは、これらの全部又は一部を還付することができる。

(秩序保持)

第 7 条 次の各号の一に該当する者に対しては、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

- (1) でい酔者又は伝染性の疾患があると認められる者
- (2) 管理上必要な指示に従わない者
- (3) その他管理上支障があると認められる者

(損害賠償等)

第 8 条 建物、展示品、図書及びその他の器物を損傷し、又は滅失させた者は、これらを原形に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(職員)

第 9 条 科学館に、館長、学芸員その他必要な職員を置く。

(科学館協議会)

第 10 条 法第 20 条第 1 項の規定に基づき、科学館に名古屋市科学館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

- 2 協議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、15 人以内とする。
- 3 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、委員会が委嘱する。
- 4 委員の任期は、2 年とし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 委員は、再任されることができる。
- 6 委員会は、特別の事由があると認めるときは、任期中においても、委員を解任することができる。

(観覧時間等)

第 11 条 科学館の観覧時間及び休館日等に関しては、教育委員会規則で定める。

附 則 抄

- 1 この条例は、公布の日から施行する。
- 2 科学館の一般公開を開始する日は、市長が定める。

附 則(昭和 39 年条例第 64 号)

この条例は、昭和 39 年 11 月 1 日から施行する。

附 則(昭和 41 年条例第 19 号)

この条例は、名古屋都市計画事業復興土地区画整理事業施行地区内の中第 1 工区及び中第 2 工区に係る土地区画整理事業の換地処分の公告があった日の翌日から施行する。

附 則(昭和 51 年条例第 17 号)

この条例は、昭和 51 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(昭和 55 年条例第 10 号)

この条例は、昭和 55 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(昭和 59 年条例第 26 号)

この条例は、昭和 59 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成元年条例第 4 号)

この条例は、平成元年 4 月 29 日から施行する。

附 則(平成 6 年条例第 7 号)

この条例は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 6 年条例第 17 号)

この条例は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 17 年条例第 112 号)

この条例は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 22 年条例第 5 号)

- 1 この条例の施行期日は、規則で定める。

(平成 23 年規則第 2 号で平成 23 年 3 月 19 日から施行)

- 2 この条例による改正前の名古屋市科学館条例別表の定期観覧券を使用する場合に係るこの条例の施行の日以後の使用については、なお従前の例による。

附 則(平成 24 年条例第 8 号)

この条例は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

別表

区分	観覧料の額			
	1回券(1人につき)			定期観覧券 (1年券)
	個人	団体		
		30人以上100人未満	100人以上	
一般	800円 (400円)	720円 (360円)	640円 (320円)	3,200円 (1,600円)
大学生又は高校生	500円 (200円)	450円 (180円)	400円 (160円)	2,000円 (800円)

備考
1 一般とは、15歳以上の者(「大学生又は高校生」及び中学校又はこれに準ずる学校に在学する者を除く。)をいう。
2 大学生又は高校生とは、大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは各種学校又はこれらに準ずる学校に在学する者をいう。
3 小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校又はこれらに準ずる学校に在学する者は、無料とする。
4 ()内の額は、科学館のプラネタリウム室を利用しない者が科学館に入館しようとする場合に適用する。
5 特別装置の展示、映画会の開催その他の特別の催しをする場合における観覧料の額は、この表に定める1回券の金額を超え当該金額に3を乗じて得た額までの金額とすることができる。
6 特殊の装置を自ら運転する者は、この表に定める観覧料のほか、委員会が定める料金を納付しなければならない。

○名古屋市科学館条例施行規則

昭和 55 年 3 月 28 日
教育委員会規則第 3 号

(趣旨)

第 1 条 名古屋市科学館条例(昭和 37 年名古屋市条例第 27 号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項は、別に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(開館時間等)

第 2 条 名古屋市科学館(以下「科学館」という。)の開館時間は、午前 9 時 30 分から午後 5 時までとし、科学館に入館することができる時間(次項において「入館時間」という。)は、午前 9 時 30 分から午後 4 時 30 分までとする。

2 教育委員会(以下「委員会」という。)は、必要があると認めるときは、前項の開館時間又は入館時間を変更することができる。

(休館日)

第 3 条 科学館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号。以下「法」という。)に規定する休日にあたるときは、その直後の法に規定する休日でない日)

(2) 毎月第 3 金曜日(法に規定する休日にあたるときは、第 4 金曜日)

(3) 12 月 29 日から 1 月 3 日まで

2 委員会は、特に必要があると認めるときは、休館日を臨時に定め、又は前項の休館日を変更することができる。

(団体の人員の計算)

第 4 条 条例別表に規定する団体の人員の計算は、団体を構成する総人員(観覧料を納付しない者を除く。)によって行う。

(観覧券)

第 5 条 観覧料の徴収と引き換えに、観覧券を発行する。

(観覧券の種類)

第 6 条 観覧券は、科学館観覧券、科学館(プラネタリウム室を除く。)観覧券、団体観覧券、団体観覧券(プラネタリウム室を除く。)、定期観覧券及び定期観覧券(プラネタリウム室を除く。)とする。

2 条例別表に規定する特別装置の展示、映画会の開催その他の特別の催しをする場合においては、前項の規定にかかわらず、その都度、当該特別の催しを象徴するような特別観覧券を発行することができる。

3 観覧券の様式は、別に定める。

第 7 条 削除

(観覧券の改札)

第 8 条 観覧券の発行を受けた者は、入口において観覧券の改札を受けなければならない。

(観覧料の減免)

第9条 条例第5条第1項第2号に規定する規則で定める者は、次に掲げる手帳のいずれかの交付を受けている者とする。

- (1) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条に規定する身体障害者手帳
- (2) 戦傷病者特別援護法(昭和38年法律第168号)第4条に規定する戦傷病者手帳
- (3) 原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律(平成6年法律第117号)第2条に規定する被爆者健康手帳
- (4) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条に規定する精神障害者保健福祉手帳
- (5) 市長の発行する愛護手帳(これに類する療育手帳等を含む。)

2 条例第5条第2項の規定により観覧料を減免することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

- (1) 幼稚園、小学校若しくは中学校又はこれらの学校に準ずる学校の教育課程に基づく教育活動の一環として幼児、児童又は生徒の引率者が入館する場合 観覧料の全額
- (2) 市内の高等学校又はこの学校に準ずる学校の教育課程に基づく教育活動の一環として生徒及びこれらの者の引率者が入館する場合 観覧料の5割相当額
- (3) 児童福祉法(昭和22年法律第164号)に規定する児童福祉施設に入所している児童及びその引率者が教育上の目的で入館する場合 観覧料の全額
- (4) 前項に定める者に同行する介護者(前項に定める者1人につき2人以内に限る。)が入館する場合 観覧料の全額
- (5) 市内に住所を有する65歳以上の者(以下「市内の高齢者」という。)が定期観覧券により入館する場合 観覧料の額に3分の2を乗じて得た額(100円未満の端数は、切り上げる。)
- (6) 市内の高齢者が条例別表に規定する団体の構成員として入館する場合 次の表に定める額

区分	団体	
	30人以上 100人未満	100人以上
一般	540円 (270円)	480円 (240円)
大学生又は高校生	360円 (90円)	320円 (80円)

備考 ()内の額は、科学館のプラネタリウム室を利用しない者が科学館に入館しようとする場合に適用する。

(7) その他委員会が特別の事由があると認める場合 その都度委員会が定める額
(観覧料の減免申請手続)

第 10 条 前条第 2 項(第 4 号から第 6 号までを除く。)の規定による観覧料の減免を受けようとする者は、観覧料減免申請書(別記様式)を委員会に提出しなければならない。ただし、同項第 7 号の規定による場合において委員会が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。

(共通観覧券)

第 10 条の 2 委員会は、必要があると認めるときは、他の施設との共通観覧券を発行することができる。

2 前項の共通観覧券の様式は、別に定める。

(優待券等)

第 11 条 委員会は、必要があると認めるときは、優待券又は招待券を発行することができる。

(観覧券付クーポン)

第 12 条 委員会は、特に必要があると認める場合に限り、旅客輸送を主たる業務とする者又は旅行業法(昭和 27 年法律第 239 号)により旅行業の登録を受けた者と共同して観覧券付クーポンを発行することができる。

2 前項の観覧券付クーポンを発行する場合の観覧料の額は、そのつど委員会が定める。

(観覧料の還付)

第 12 条の 2 条例第 6 条ただし書の規定により既納の観覧料の全部又は一部を還付する場合は、次のとおりとする。

(1) 科学館の展示室又はプラネタリウム室(以下「展示室等」という。)を利用しようとする者の責めに帰することのできない理由によって展示室等を利用することができなくなったとき。

(2) その他委員会が特別の理由があると認めるとき。

(協議会の会長及び副会長)

第 13 条 名古屋市科学館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長 1 人を置き、それぞれ委員の互選により定める。

2 会長及び副会長の任期は、1 年とする。ただし、再任を妨げない。

3 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(協議会の会議)

第 14 条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会の会議は、定例会及び臨時会とする。

3 定例会は、毎年 2 回招集する。

- 4 臨時会は、必要に応じて招集する。
- 5 協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 6 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(説明又は資料の請求等)

第 15 条 会長は、会議において関係職員に対し説明又は資料の提出を求めることができる。

2 関係職員は、会議に出席して意見を述べることができる。

(協議会の庶務)

第 16 条 協議会の庶務は、科学館において行う。

(委任)

第 17 条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

1 この規則は、昭和 55 年 4 月 1 日から施行する。

2 この規則施行の際現に市立名古屋科学館条例施行細則(昭和 37 年名古屋市規則第 70 号。以下「旧規則」という。)の規定に基づく優待券を所持する者の使用については、なお従前の例による。

3 この規則施行の際現に旧規則に基づいて提出されている観覧料減免申請書は、この規則の規定に基づいて提出されたものとみなす。

4 この規則施行の際現に旧規則の規定に基づいて調製されている観覧券及び観覧料減免申請書は、残量のある限り、使用することができる。ただし、観覧料減免申請書については、この規則の様式の要件を満たすよう修正するものとする。

附 則(昭和 56 年教育委員会規則第 7 号)

この規則は、昭和 56 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(昭和 59 年教育委員会規則第 5 号)

1 この規則は、昭和 59 年 4 月 1 日から施行する。

2 この規則施行の際現にこの規則による改正前の市立名古屋科学館条例施行規則の規定により調製されている科学館観覧券は、この規則による改正後の市立名古屋科学館条例施行規則(以下「改正後規則」という。)の規定にかかわらず、残量のある限り、改正後規則の様式の要件を満たすように修正して使用することができる。

附 則(昭和 63 年教育委員会規則第 14 号)

この規則は、昭和 63 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成元年教育委員会規則第 9 号)

1 この規則は、平成元年 4 月 29 日から施行する。

2 この規則施行の際現にこの規則による改正前の市立名古屋科学館条例施行規則の規定に基づいて提出されている観覧料減免申請書は、この規則による改正後の名古屋市科学館

条例施行規則の規定に基づいて提出されたものとみなす。

3 教育長専決規則(昭和31年名古屋市教育委員会規則第13号)の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

附 則(平成4年教育委員会規則第2号)

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則(平成5年教育委員会規則第15号)

1 この規則は、平成5年6月1日から施行する。

2 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の名古屋市立養護学校学則等の規定に基づいて作成されている申請書等は、この規則による改正後の名古屋市立養護学校学則等の規定にかかわらず、当分の間、修正して使用することができる。

附 則(平成6年教育委員会規則第1号)抄

1 この規則は、平成6年4月1日から施行する。

2 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて提出されている申請書等は、この規則による改正後の各規則の規定に基づいて提出されたものとみなす。

4 この規則の施行の際現に第1条及び第2条の規定による改正前の各規則の規定に基づいて作成されている用紙で残量のあるものについては、これらの規定による改正後の各規則の規定にかかわらず、当分の間、使用することができる。

附 則(平成6年教育委員会規則第8号)

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則(平成6年教育委員会規則第17号)抄

1 この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則(平成7年教育委員会規則第13号)

この規則は、平成7年12月1日から施行する。

附 則(平成13年教育委員会規則第4号)

1 この規則は、平成13年4月1日から施行する。

2 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて提出されている申請書等は、この規則による改正後の各規則の規定に基づいて提出されたものとみなす。

3 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて交付されている許可書は、この規則による改正後の各規則の規定に基づいて交付されたものとみなす。

4 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて作成されている用紙で残量のあるものについては、この規則による改正後の各規則の規定にかかわらず、当分の間、修正して使用することができる。

附 則(平成13年教育委員会規則第5号)

- 1 この規則は、公布の日から施行する。
- 2 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて定められている観覧券等の様式は、この規則による改正後の各規則の規定に基づいて定められたものとみなす。

附 則(平成 15 年教育委員会規則第 14 号)

この規則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 16 年教育委員会規則第 14 号)

この規則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 17 年教育委員会規則第 26 号)

この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 22 年教育委員会規則第 12 号)

この規則は、名古屋市科学館条例の一部を改正する条例(平成 22 年名古屋市条例第 5 号)の施行の日から施行する。

(施行の日 = 平成 23 年 3 月 19 日)

附 則(平成 23 年教育委員会規則第 31 号)

この規則は、平成 24 年 1 月 21 日から施行する。

附 則 (平成 26 年教育委員会規則第 15 号) 抄

この規則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

別記様式(第 10 条関係)

名古屋市科学館観覧料減免申請書	
年 月 日	
<p>(あて先)名古屋市教育委員会</p> <p style="text-align: right;">(申請者)</p> <p style="text-align: center;">住 所(団体は主な事務所の所在地及び名称)</p> <p style="text-align: center;">氏 名(団体は代表者氏名)</p> <p style="text-align: center;">電話 自宅(団体は主な事務所)</p> <p style="text-align: right;">勤務先</p> <p>次のとおり観覧料の減免を受けたいので申請します。</p>	
観 覧 の 種 別	
観 覧 年 月 日	年 月 日
観 覧 の 人 員	
引率者の職氏名	
観 覧 の 目 的	
減免を受けようとする理由	
減免を受けようとする金額	
そ の 他	

(備考) 用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とする。

位置略図



- 交通アクセス
- 地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」下車 5番出口から南へ徒歩5分
 - 市バス「広小路伏見」下車 南へ徒歩5分
 - 名鉄バス「白川公園前」下車 北へ徒歩5分

名古屋市科学館要覧

(平成26年度)

発行 名古屋市科学館

発行年月日 平成26年8月末日

発行部数 450部

年刊／無料／特定

印刷所 大同印刷株式会社

この冊子は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。



名古屋市科学館

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番1号 TEL (052) 201-4486

FAX (052) 203-0788

団体予約専用 TEL (052) 231-9771

テレホンサービス TEL (052) 201-4494

インターネットホームページ <http://www.ncsm.city.nagoya.jp/>